滿洲日報
十月三十一日
發行所 大連市東公園町一番地 株式會社滿洲日報社
印刷人 編輯人 發行人

和平統一會議決裂は最早時の問題となる

南京派には妥協の意思なく 廣東派に對し賣國奴呼はり

【上海特電三十一日發】和平會議成立困難とみて南京側は香港會議以來の交渉内容を機關通信紙を通じて發表すると共に豫備會議に提出された黨制各機關の根本的解決案に對し內容はしばらく問はず團結と對外の精神と合せず、今は只首都に集合して共に國難に當るべきだ、黨制の根本問題は黨員多數の討論決議に俟つべきで斷じて十餘の人を以つて上海で商談すべきでない、黨員ならば黨章を守り國民ならば國家の難を急ぐべきだ、黨國を愛するの誠實なく外國に利權を送るを目的とするものはこれ等黨章に違反し國難を救はざる案は提出討論すべきでないと蔡元培氏宛訓電をよせて來た、廣東派を以て愈々露骨に賣國奴呼ばはりをしてゐるがこれに依るも南京側に妥協の意思全く無しと斷ぜられる、決裂は既に時の問題となつた

蔣氏の食言に憤慨

廣東派連名通電の要旨

【上海特電三十一日發】和平豫備會議は對外問題の討議を打切り昨日から內政問題に移つたが、廣東側は陳銘樞氏の淞滬警備司令就任すら未だ實現せず、蔣介石氏數次の食言に無誠意を憤慨しながら只會議決裂の責任を蔣介石氏に取らせるため會議を續行してゐる如き狀態で、昨日附全國各團體各級黨部に宛た廣東代表連名の通電も今次の會議は黨國の諸問題に根本的解決を與へたいためだと主張し、又胡漢民氏は蔣介石下野と廣東政府取消は統一政府成立後發出の取極めであつたが、南京側は一切の口實は四全大會で決するとの某中央委員の談は蔣介石氏の聲明の無誠意、外交緊急を名に廣東代表等の即時入京を求め上海會議を破壞せんとした事、南京側各級黨部の胡漢民氏等入京督促、蔣介石氏直轄軍領の元首擁護通電等を指摘して南京側の無誠意を責め、某中央委員の談話は和平會議を破壞するものだと難じ和平會議は殆ど絕望の印象を與へてゐる

陳濟棠氏寢返り說

蔣介石氏に買收されて

【上海三十一日發】蔣介石氏の策略一により陳濟棠氏は決定的となり和平會議は全く決裂となつたので胡漢民氏等は近く廣東に向け出發する事となつた、然るに情報によれば蔣介石氏は巨額の金を以て廣東に在る陳濟棠氏を買收し陳氏は急は南京側に寢返り蔣介石支持の意向を表明するに至つた、このため廣東派は廣東に歸る事が出來ず上海に立往生の已むなきに至つた、右寢返りに廣東派要人は烈火の如く憤慨してゐる

決死の覺悟で初志貫徹 廣東側要人談

【上海三十日發】陳濟棠氏の買收につき廣東側某要人は語る
陳濟棠が蔣介石に買收されたとの說に驚いてゐるが、蔣介石から金を貰つたとしても廣東政府に敵對することはあるまい、胡漢民氏が近く廣東に行くから陳も反省するであらう、憎むべき陰謀のため和平は捗らぬかも知れぬが我々は飽くまで初志を捨てず決死の覺悟で統一救國のため奮鬪する積りである

軍狀奏上に參內の各司令官

海軍進級會議は廿九、卅の兩日に亘り海軍省にて開催されることゝなつたが、會議に參集せる山本第一艦隊、大角橫須賀鎭守府各司令官始め要港部司令官は廿九日正午宮中に參內 天皇陛下に拜謁仰付られ各管下の軍狀を奏上の上退下した、寫眞は海軍省にて前列右から中村中將、山本大將、大角大將、(中列)左から野村中將、山梨中將、末次中將(後列)「右」は伊知地少將「左」米田中將の諸氏

蔣張協議決定した對日露方針

北滿方面で露支協調

【上海三十一日發】張學良氏は二十九日飛行機で南京到着後直に外交委員會に出席し對日、露外交方針に就いて協議したが、當地支那側の消息によれば張學良氏が提案して蔣介石氏の同意を得、外交委員會特別委員會の正式決定を經た對日、露外交方針は次の如くである

對日方針

一、日本が完全に撤兵しない間は如何なることあるも日支直接交渉に應ぜずアメリカと國際聯盟を通じて日本を牽制すること
二、萬已むを得ずして日支直接交渉を爲す時は一切の決定權を張學良氏に委任し中央は飽迄張學良氏を支持すること

對露方針

一、勞農ロシアと可及的速かに國交を恢復すること
二、支那はロシアに東支鐵道に附屬する利權を讓渡し北滿における露支協調を圖ること
三、蒙古におけるロシアの進出は現狀維持を認むること
四、ロシアから武器を購入し軍事教官を傭聘すること、この費用一千萬元のうち半額は中央より支出し他の半額は東北にて負擔すること
五、國交恢復せば大使を交換すること、但し勞農の領事館通譯代表その他の機關は當分東三省及び關內の張學良氏勢力範圍に限り恢復設置すること
六、日支開戰の場合はロシアは支那に好意的中立を守ること

れば北方の共產黨は國民黨の聯絡抗日策の決定まで暫く工作を中止し形勢を觀望することに決定したと

米當局勞農の態度注視

【東京特電三十一日發】滿洲における日支紛爭事件を注視して來たアメリカは今や右紛爭に關聯し勞農の態度を極めて重大視し眞相を見極めんとしてゐる、然しアメリカ當局では勞農との關係を以て贋るデリゲートであるとなし未だその眞相を摑むに至つてゐないと稱してゐる

ソ少年事件代償に英國が利權獲得說

解決內容を發表せず

【南京三十日發】英公使ランプソン氏と支那政府との間にジョン・ソルボン少年事件が解決された事が明白になつたが、外交部は何故か解決內容の發表を拒絕してゐる、仄聞する處によればソルボン少年を逮捕して蘇州郊外で銃殺し死體を燒棄たことを認め而して主犯たる王憲兵隊長及び兵士らは何れも處分された而して英支兩國間では本事件解決につきその事情を永久に發表せぬ事に諒解成立したとの事で解決を條件に紡績機械の賣込み其の他の利權をイギリスが獲得したとの說が當地外人側に有力に傳へられてゐる

米兩新聞の正論

日本の態度を是認

【東京特電三十一日發】二十六日のワシントンポスト紙は其社說で滿洲問題に關する日支紛爭解決につき日支直接交渉の必要を力說し支那が餘りに聯盟に賴り過ぎる點を非難し更に日本の直接交渉基礎案なるものの內容は敢て理不盡のものに非ずとし日本の即時撤兵不可に關して若日本の主張せるが如く今回の事件が支那兵の亂暴に起因するものとせば、支那は日本人の安全を保障し得るまで日本に撤兵を要求する權利なきものといはざるを得ぬと述べた、またメール・エンド・エンパイヤ紙はロシアの侵略に對し滿洲を救つたのは日本なる事を第一に記憶するを要すと滿洲における日本の歷史的關係を述べ今次の紛爭は支那が諸外國人の生命財產保護の力なき事情に端を發したものであつて支那には中央政權なく群雄割據してゐる之日本が南京政府を相手とするよりも寧ろ他の政權を選ばんとし又一定期日內撤兵の提議を拒絕する所以であると日本の態度を是認し最後に聯盟に對し聯盟が支那のみに聲援を與へんとするが如きは全然誤れる態度なりと注意した

自衞軍の襲擊に錦州軍敗走

溝帮子方面の激戰

凌印清氏の東北民衆自衞軍が二十九日朝營口溝帮子間の胡家窩棚において張學良の錦州軍第十九旅と第一回の衝突を起せることは既報の如くであるが、同戰鬪は最初凌軍の旗色振はず稍々後退したが其後形勢一變錦州軍潰走し引續き追擊中であると、なほ凌軍は高山子の總司令部內に二十八日軍事、政務、外交初め各機關の首腦者を任命したが、兵數十七旅三團と號稱して居る、これに對し張學良軍は孫德荃の第十九旅、張庭樞の第十二旅黃顯聲の騎兵隊に機關銃、迫擊砲中隊等であるが尙後續部隊として第九、第十、六、二十騎兵第三旅砲兵二團、工兵五營を控え勝敗逆睹し難いものがあると【奉天電話】

王立祥氏も反張運動を起す

【天津特電三十一日發】故楊宇霆氏の參謀王立祥氏は反張運動を企て目下北寧沿線で舊部下を糾合中

宗昌氏は廣東派とも連絡あるといはれてゐるが何れにしても宗昌氏の平津乘出しは注目に値する【寫眞は張宗昌氏】

張宗昌氏も愈よ再起を決意

近日天津に乘出す

閑府における隱遁生活に見切りをつけ「老母への孝養の爲」と稱し靜かに旅順に閑居中の張宗昌氏は雌伏既に久しきに亘るが折柄時局は急轉しこの際起たずんばと舊部下の慫慂と、性來の覇氣滿々たる氣性から最近にいたり好機の到來を待望してゐた、しかるに宗昌氏は愈々旅順から離れる事に決意を固め既に舊部下元青島市長林某外七名は三十日出帆天潮丸にて天津へ向つたが、聞くところによると張宗昌氏はこの兩三日中に天津に赴く事となり總ての手配が整へられた由で、旅順における閑居は僅にざはめいてゐる、尙張宗昌氏が知人に語るところによると一寸天津の與某氏に會ひたい用事があつて赴津するのだが場合によれば學良氏にも有ふと暗に學良派に買收された事を否定してゐるが周圍の事情は張宗昌氏が學良派と默契のあるに非ずやと見られて居る一方傳へられるところによれば張

國際聯盟協會 滿洲問題理事會

【東京三十一日發】國際聯盟協會は三十日正午事務所に滿洲問題緊急理事會を開催し石井子爵、山川、內ヶ崎その他各理事出席、石井子は特別委員會の經過を報告し支那の排日實狀を記した歐文の印刷物を各國に配布する件につき承認を求め更に芳澤大使に感謝電の發送並に日本聯盟協會の立場を闡明する聲明電を各國理事に打電に決定し散會した

日本撤兵せずば國交斷絕を通告

顏駐米公使の方針

【北平三十一日發】近く赴任すべき駐米支那公使顏惠慶氏は滿洲事變に對して聯盟に絕る一方日本が若し十一月十六日までに撤兵せぬ時は國交斷絕を通告して不戰條約の主唱國たる米國の發動を促し日本を完全なる國際的窮地に陷いれて滿洲の主權回復の策動を爲すべしといはれ無氣味な沈默を續くる米國今後の態度は注目さる

中國共產黨に休戰指令

【北京特電三十一日發】莫德惠氏から張學良氏に對しソウエート當局は南京、廣東當局に好意を有し既に中國共產黨に對して休戰を指令したため江西省その他の共產軍は

中央軍に攻擊を加へない、東北に對しては慫慂なほ佳ならず、北方共產黨の行動に對しては此際特に考慮を加へる必要ありと報告して來た、なほ傳へられるところによ

遼寧省政權確立の具體的方針を決定

三要人協議の結果

袁金鎧、闞朝璽、于冲漢の三氏は三十日午後一時ヤマトホテルにおいて某々要人と會見、約二時間餘に亘り時局の善後收拾につき隔意なき意見の交換を行つた、その結果基本的原則は確立し愈々政治機構の具體化を見ることゝなつた、三氏は退出後引續き某所に會合、更に具體的の討議に移つたが地方維持委員會の省長公署跡への移轉は十一月一日に內定せるものゝ如くである【奉天電話】

大連移轉を陳情 高等法院の

關東州辯護士會では豫て旅順高等法院の大連移轉を當局に要望してゐるが河內山會長以下大內、齋藤、相川氏等幹部六氏は三十日關東廳にて塚本長官と會見し、目下大連に建築中の地方法院が完成したら高等法院も同法院內に移轉して一般訴訟關係者の利便をはかられたき旨縷々陳情した

江橋鐵橋修理回答

【天津特電三十一日發】故楊宇霆氏の... 清水齊々哈爾領事が黑龍江省政府に對し洮昂線江橋の修理を嚴談せるに對し馬占山氏は右に對し三十日工事に着手すると答へて來たがその實行は疑はしい、因に同方面は目下氣溫零下十七度にして一週間後には渡涉甚だ困難となる旨【奉天電話】

香港の排日紙發行禁止

【上海特電三十日發】滿洲事變に關し最も毒舌を振ひ排日の急先鋒であつた香港の工商日報は遂に昨日より二ヶ月間發行禁止された

萬一日軍來るも恐るゝに足らず

赤露軍五萬が支援すると豪語する馬占山氏

【ハルビン特電三十一日發】馬占山氏は黑龍江政府要人及びチチハル總商會の休職勸告を峻拒し黑龍江占領のため極力主戰を唱へ、假令日本軍來るも戰鬪準備充分なれば恐るゝに足らず、萬一不利の際は五萬のソウエート軍が支援の筈だと豪語してゐる、なほ馬占山氏は二十七日來省城外に結氷中の土地を掘り防備工事を急がせつゝあり、特に注目に値するはわが領事館、滿鐵公所襲擊に備ふべき設計である、更に馬占山氏は昂々溪に收監中の馬賊頭目十三名を去る二十五日夜釋放し黑龍江省内にて出來得る限り多數の馬賊集結方を命じた、因に省主席萬國賓氏は馬占山氏のため殆ど子供扱ひされるため省政府にけ姿を見せず馬氏の獨り天下であると

軍備休日案贊成少し

【ジュネーヴ三十日發】國際聯盟總會が九月の第十二回總會の決議に基き世界に贊成を求めたる一ヶ年間軍備休日案に對し本日までに受諾を表明したるは日本、アメリカ、ロシア外八國で明一日中に多數國の受諾は期待出來ず結局該案は一片の決議に終るだらうと見られてゐる

人事

ばいかる丸 十一月一日午前八時半大連港外着の豫定
▲阿部眞一氏(大每、東日特派慰問使)卅一日午後四時五十分着列車にて來連
▲磯崎觀一氏(同)一日午前八時來連の豫定
▲貝瀨謹吾氏(滿洲技術協會長)三十一日出帆香港丸にて內地へ
▲小田其衞氏(關東廳判官)同上
▲渡邊猪之助氏(滿鐵理學試驗所長)同上
▲藤田臣直氏(昌光硝子常務)同上
▲松山高商劍道部員十六名 同上
▲石川鐵雄氏(滿鐵總務部次長)三十一日朝奉天より歸連
▲首藤正壽氏(滿鐵理事)卅一日午後九時卅分發奉天へ

內田滿鐵總裁 陸、外首腦招待

【東京特電三十一日發】內田滿鐵總裁は來月二日午後六時より霞ヶ關茶寮に南陸相、幣原外相、杉山陸軍次官、二宮參謀次長、永井外務次官、伊東、八田... 及び參謀本部首腦部を招待晩餐會を催す筈

石本氏等出發

在滿日本人時局後援會から政府要路に重要事項陳情のため代表委員として上京先發の小澤太兵衞氏及び齋藤濃太郎、石本鑛太郎兩氏も三十日後急遽上京、着京の上小澤氏と打合せ使命を果すことになつてゐると

大每支局長招宴

名村大每大連支局長は大每東日特派慰問使磯崎・阿部兩氏の來連を機に兩慰問使の紹介をかね一日午後六時より大連ヤマトホテルに大連旅順在住の知名の士百餘名を招き晚餐會を催すと

蛇角

太平洋會議陳代表の失言、日本が滿洲に領土的野心云々は場所柄を辨へぬも程がある、取消陳謝で收まつたが今後も愼め。

◇

陳濟棠の寢返り、いくら寢返り流行の支那でも此れには驚かぬものはあるまい、陳は今度の反蔣運動の大將だつた。

◇

蔣介石の鼻息馬鹿に荒いと思つたら、コツソリ陳濟棠を買收してゐた、陳が廣東に頑張ると、上海に出て來た廣東政府の要人行き場所がない。

◇

一方南京側では廣東派を賣國奴呼ばはりの宣傳、蔣介石の畫策、妙は即ち妙、只其の餘りに陰に過ぐるを如何にせん、全國の歡服を受くるや否やが疑問。

◇

日本を理會する者、紐育トリビューンの外、ワシントンポスト及メールエンドエンパイヤが出て來た、追々と分つて來る。

◇

米國は露國の北滿に對する態度に注意す、日本は既得權の主張のみ、注意す可きは露の新活動だ、國際聯盟には此れこそ眞劍な問題の重要因子として殘るだらう。

◇

タンク發明者フリードリツヒウイルヘルムベーベル死す、タンクの威力は、まだ幾十年か兵力支配

東亞の謎 (124)

國枝史郎
插畫 伊藤順三

沙漠の古城 (十八)

「我々四人をご招待下され、このやうに盛大な宴をひらかれ、ご歡迎下されたご好意に對し、厚くお禮申し上げます」
こんな具合に松下伯は、答辭のテーブルスピーチをはじめた。
「世速該元帥の雷名は、夙に承知いたし居りまして、一度ご面接の榮を得たく、希望いたして居りました次第、今回宿意叶いましたこと、欣快至極に存じます……次に先程のお言葉によれば、城方より我々に對しまして、何やらご依賴がありますとの由、何なりと當方にて出來ますことなら、お引受いたし度く存じます……尙これも先程のお言葉によれば、也速該元帥にはお心祝有之、これも後刻ご發表下されると、我々に該お心祝の、內容をお漏らし下さることの事何より嬉しく拜聽いたし、共々お祝ひいたしたいものと、樂しみ、お待ちいたします……」
こゝで伯は方向を變へた
「由來蒙古の地、沙漠の世界は、古代における文明國の、榮枯盛衰いたしました處、回鶻、大宛、烏孫、甸その他三十八箇國以上の、國々が興り榮信み、さうして亡びました處であり、地下には殆ど無限の寶が、埋藏されて居ります筈これは定評にございます……ところがかゝる無限の寶庫を、永久に無駄に沙漠の地下に、埋沒させて置きますことは、不經濟至極でございまして、この點は殘念の蒙古を、探檢旅行いたしました我等、その都度心外に思ひました處この寶庫の發掘、並に、取りかゝる可きが至當であると、愚考する次第にございます」
こゝで又伯のスピーチの方向は別の方へ向けられた。
「申す迄もなく私事は、日本の人間でございます。見受けましたところ我々と同じく、日本に籍を置く方々が、幾人かこの席に居ります樣子、也速該元帥の麾下として働いて居られる方々であると、このやうに愚考いたしますが、故國を離れ異境の地に——氣候風俗こととく異なる、才藍の沙漠のかゝる境地に、勇ましく生き勇ましく戰ひ、勇ましく自己を擴張される態度は、同じ日本人の私としまして、誠に快よいながめであり、痛快事であると心ひそかに、感じ居る次第にございます」
かう云つて來て松下伯は、さも嬉しいといふやうに、日本の準備の將校や、支那浪人の一團の方へ優しい笑顏を振り向けた。
日本人達は動搖した。——
さうで無くてさへ松下伯が、この席へ姿を現した時から、彼等は囁いたり指さしたり、眼くばせをしたり頷き合つたりして刺戟された感慨を示し合つてゐたが、その伯が今のやうにその彼等のことを稱揚して言及したために、いよいよ感慨を刺戟されたらしく、動搖の態度を現はし出したのであつた
彼等は既に伯達一行が、音車綱城內へ捕へられた時から、動搖を來たしてはゐたのであつた。
血は水よりも濃しといふ、この言葉通り彼等日本人は——三木本だけは別として——いづれも心中で伯達のことを——その現在と將來のことを、氣にかけ心配してゐたのであつた。

便衣隊の潜入説に 埠頭の警戒嚴重
四等船客を監視する

便衣隊の大連潜入説は時節柄注目されてゐるが、海上からの便衣隊潜入に對する第一關門の水上署では萬一見逃し上陸せしむる樣な事があればそのおよぼす影響の重大なるに鑑み從來の警戒に更に徹底を期するため高等係を主班として支那各港よりの入港船に對しては虱つぶしの調査取調べを開始する事となつた、殊に從來は單なる苦力の群として扱つてゐた四等船客即ちデッキパッセンヂーに對しては特に嚴戒を加へる事となり卅一日沖田高等主任は係員に對してその内意を特に命ずるところあつた

移動警邏班で 構内を巡視
頻發する怪火に備へ

埠頭構内に頻發する怪火に對して水上署司法係では滿鐵埠頭監視係と協力して調査中であるが三十日午前中二回の小火はこれを自然發火と見做し、午後の第二埠頭事務所の火を發したのは單なる煙草の吸殻よりと見るのを至當であるとの意見の一致を見た、然し昨今便衣隊潜入説の高い折柄水上署では萬一を慮り從來の警戒を更に徹底せしめるため構内移動警邏班を作り夜間構内を縱横に警戒することゝなつた、なほ油滲ウエスの自然發火は風速、氣温その他の理由でこのシーズンが非常に多いのであると埠頭の當局では語つてゐる

上海の排日 やゝ下火となる
太平洋會議に牽制されて 官憲の彈壓が効く

南支の反日狀態は依然として繼續されつゝあるが、三十日上海より入港した大連丸高木事務長の語るところによると、最近上海における反日は一時程過激でなく案外冷靜に返りつゝある、これは一面對日經濟絶交と云ふものは結局中國側に不利益であると悟つた爲と國際聯盟の形勢は中國側に有利になつたのでそれ程馬鹿騒ぎをしなくても好いと多寡を括り出したに基因してゐるらしく更にかゝる狀態になつた唯一の動機と認めらるゝは太平洋會議が上海において開會されつゝある今日、妙な策動をなし事件を惹起するは中國側にとつて頗る不利であるとの理由から支那側官憲の彈壓が相當效果を收めてゐるものとも見られる

日華製油閉鎖

【漢口特電三十日發】當地日本棉花系の日華製油會社は原料買付不能と排日による職工の罷業のため操業不能に陷り三十一日より工場閉鎖に決した

小田判官上京

關東廳地方法院判官小田基衛氏は來月五日より東京司法省において開催さる司法官會議に列席のため卅一日出帆香港丸にて内地に向つたが出發にさきだち語る

關東廳からは私一人が出席する會議は主として刑事事務檢察事務について行はれるが自分としては刑事事務につき内地のその道の人達の意見を聽きたいと思つてゐる、五日から一週間會議が行はれるが自分は久しぶりの上京だしこの際内地例へば東京大阪名古屋京都等一流都市の裁判事務を特に見學して來たいと思つてゐる

ヌーランに 死刑の判決
東洋赤化運動の首魁

【上海三十一日發】今夏上海で逮捕され南京に護送監禁中であつた東洋赤化運動の首魁汎太平洋勞働會議書記長ヌーラン（牛蘭）夫妻に對し本月十日ヌーランに對しては死刑を夫人に對しては無期徒刑の判決を下した、一説には既に銃殺に處せられたとも傳へられるが一面ヌーランの辯護人は抗告の手續を開始したとも傳へられてゐる

備考　ヌーランは白耳義人とも露西亞人とも言はれ國籍が明かでないが日本支部その他東洋諸國の赤化運動の中心人物であることは幾多の證據に依つて明白とされてゐる、故孫文氏夫人宋慶齡女史その他全世界の知名な社會主義者は先般來南京政府にヌーラン夫妻の助命を運動してゐた

タンク發明者逝去

【ベルリン三十日發】世界大戰當時聯合國軍の心膽を寒からしめたタンクの發明者フリードリッヒ・ウイルヘルム・ゲーベル氏は三十日逝去した氏は八十萬馬克の資産を發明に費盡し未亡人は全くの無一文といふ氣の毒な有樣である

兵匪を撃退し 鮮農と引揚
四平街の警官と軍隊

四平街署員十八名と巡警五名が鮮農を保護し牛拉山門に向ふ途中兵匪に襲はれ危險の報に四平街署員五十名と歩兵一個小隊救援に赴いたまゝ消息不明となり更に中島大尉の率ゆる一部隊が捜査に赴きその安否も亦氣遣はれてゐたが、何等損傷なく兵匪團を撃退し鮮農は千石餘りの粮を馬車に乘せ引揚げて來た【四平街電話】

鮮人被害を報告

不破總領事は三十日朝來旅、關東廳に塚本長官及び中谷警務局長を訪れ、事變以來の同領事館管内における鮮人同胞の被害につき詳細報告し善後措置につき協議するところがあつた

吉長、吉敦 兩線警備
省政府が當る

吉長、吉敦兩鐵道守備隊は吉林省政府の手で新たに編成されたが吉長鐵路守備隊長楊春華氏これを統轄することになつた【奉天電話】

醫師會の總會

大連醫師會では二十九日午後四時五十五分より秋期總會を開いたが會務報告、五年度收支決算報告六年度豫算案決定の件、會費三圓五十錢制限の件等を可決し、續い

て緊急施設として日本赤十字滿洲本部診療所は本來の使命に基づき施療本位として低減治療開始診くとも大連醫院治療規定に準ぜられんことを希望す
右決議をなし午後七時十分散會した

在京支那留學生 抗日救國會組織
不穩分子は斷乎處置

【東京三十一日發】支那留學生は最近抗日救國會を組織し本國の抗日會と聯絡をとり盛んに排日行動をなしてゐるため文部省は外務警視廳と協議の結果支那學生の行動に對しては斷然たる處置を執るに決した、卅三日中に文部省から各學校に對し通牒を發しこれ等不穩なる學生の集合を斷然解散せしめなほ不穩分子に對しては退校又は放校せしむる事となつた

福原院長叙勳

【東京特電三十日發】帝展二十五周年記念に際し來月一日附を以て美術功勞者に對し金銀盃を御下賜、殊に病床にある福原院長には右の御沙汰傳達される事となつた

帝國美術院長 正三位勳一等 福原鐐三郎
授旭日大綬章

モーターカーの 借用申込み拒絶
營口の慘事に鑑みて

營口におけるモーターカー衝突事件に鑑み滿鐵々道部では今後は社外一般人のモーターカー借用申込はこれを拒絶することゝなり萬止むを得ざる緊急の必要ある場合は必ず各課所長の許可をまつて運轉するやう卅一日各現場關係方面に通達するところあつた

衰弱加はる 澁澤子
入澤博士發表

【東京三十一日發】澁澤子の病狀最近憂慮されゐる折柄本日主治醫入澤博士より左の如く發表された

八月上旬レントゲン檢査の結果大腸に狹窄症が確認され十月上旬腹部膨滿に伴ひ腹痛あり一時腸閉鎖の症狀を呈し苦悶に堪へ難き有樣だつたので十月十四日人工肛門手術を行つた近日來微熱で食慾不振となり營養衰へ昨今は幾分衰弱の兆現はれた、體温二十七度より三十七度八、脈搏九十前後、呼吸二十八乃至三十

大廣場鄕軍會

大連在鄕軍人大廣場分會では三十日午後四時半から民政署會議室に役員會を開會し左記各項を協議決定した

一、十一月二十日を締切とし日支衝突事變に殉歿した遺族の弔慰金を募集する事
二、聯合分會事務所の事務室を改築する事
三、三日午前九時三十分より滿電バス事務所三階に於て明治節および在鄕軍人會創立記念祝賀會を開催すること
四、十一月十四日を締切とし遭難鮮人救濟義捐金品募集の事
五、軍隊慰問のため寺山分會長ほか幹事二、三名奉天へ派遣の事（一行は十一月七日午後十時發の豫定）

前首相狙撃の 第一回公判
愈よ來る二日に開廷

【東京三十一日發】昨年十一月十四日東京驛にて故濱口前首相を狙撃した佐鄕屋留雄（二三）松木良勝等に係る殺人未遂及び幇助罪の公判はその後東京地方裁判所にて一件書類整理を終つたので來る二日午前十時刑事第一部小林裁判長、岡檢事、秋山、林、岡崎辯護士係で第一回公判開廷の事となつた、なほ同事件に連座し銃砲火藥取締法違反に問はれた岩田愛之助は分離して別に審理さるる事となつた

明治節奉祝式

十一月三日の明治節には常盤、大廣場青年訓練所、在鄕軍人會大連聯合會、滿洲青年聯盟大連支部、修養團忠靈塔分團主催の下に午前八時より中央公園忠靈塔廣場で盛大な奉祝式を擧行する

最後まで滿洲と 滿鐵の事を心配
臨終まで仙石さんに仕へた 鍋島嘉門氏語る

約二ケ年滿鐵總裁秘書役として仙石翁に仕へた鍋島嘉門氏は語る

仙石翁も遂に不歸の客となつたが、この發病の原因は滿鐵總裁として社務に勵精せられたためである、自分は今月七日上京して以來片瀨の仙石邸に日參して親しく病床に侍しその最後までお仕へすることが出來たのは非常な光榮と思ふ、仙石さんは一時良くなられたのであるが、濱口前總理の訃に接して非常に落膽し「わしと代つて濱口を生して置きたかつた、國のためにもつと働いて貰ひたかつた」と述懷し大變力を落された、自分が滿洲事變の報告をなして内田、江口滿鐵正副總裁が社員と協力一致奮闘されてゐることを申し上げるとそれは誠に結構だと微笑まれ最後まで滿洲のこと、滿鐵のことを心配しておられた、性格が剛直のため在任中はんそうの實力がよく認められなかつた嫌もあるが仙石さんの眞價はその後だんだんと世間に諒解されて今日ではやはり仙石さんは偉いといふことになつた、國事多端の折柄かくの如き大人物を失つたことは實に日本國家の大損失と思ふのである

仙石氏葬儀
來る二日青山齋場て

【東京特電三十一日發】逝去せる前滿鐵總裁仙石貢氏の遺骸は現在片瀨の別莊に安置されてゐるが、來る二日午前中に東京に運び、午後二時より幣原外相葬儀委員長となり青山齋場に於て神式により葬儀を執行することになつた

協和會館で 追悼會
二日午後三時

仙石前滿鐵總裁の葬儀は二日午後二時青山齋場において執行に決定したので滿鐵では同日午後三時協和會館において追悼會を擧行する

明日のラグビー戰

大連倶樂部では一日午後二時より大連運動場に於て南滿工專とラグビー試合をする、また同日午前十一時からキックオフする筈であつた鞍山滿鐵對工專のラグビー試合は鞍山側時局のため中止された

入京した米國職業野球團

米國大リーグのスター選手を網羅した名實共に世界の最強を誇る米國職業野球團選抜チーム一行は廿九日午後零時半橫濱入港の龍田丸で來航した團長リーブ氏以下選手は同伴の婦人達と共に直に特別仕立の野球列車で午後三時四十五分東京驛着、華々しく盛大な出迎への波にもまれながら入京した【寫眞は東京驛の一行中央は少年チームから花束を受けるリーブ團長】

前科から また盜む
逃亡中捕はる

去る廿六日午後一時五十分ごろ市内三河町日下卓四郎氏方の裏硝子窓を破つて侵入衣類十七點（時價四百圓）を盜み出し暗に紛れて逃走する犯人を大連署木戸巡査が發見大格闘のうへ逮捕した

右は三重縣志摩郡片田村、住所不定前科四犯濱口大次郎（三二）といひ強盜、窃盜など四犯の罪を重ねて本年九月初旬來連職を求めんとしたが前科が邪魔してどこにも雇はれず食はんが爲めに窃盜を働いた旨を自白した

強盜共犯者 潜伏中逮捕
昨日甘井子で

曩に小崗子署にて惡比須町人殺しの容疑者として引致取調べた結果本年一月一日沙河口萬歳街雜貨商を襲つて現金百圓を強奪した強盜犯人と判つた市内徳政街五三山東省生れ楊福享（三〇）の共犯者については引續き捜査中三十日共犯者元沙河口香爐礁三區居住中の王明（三〇）が甘井子金家屯豆腐屋に潜伏してゐることが判明したので同署の齋藤刑事は午後十時ごろ甘井子に赴き大格闘の末逮捕した

近く河豚を解禁
小賣は嚴重に取締る

關東廳では豫て水産會から河豚解禁の曉は年額十數萬圓の河豚が沿海漁場から水揚がある筈であるので漁業者救濟の見地からこの際内地他府縣でも既に許可されてゐるのに鑑み料理方法を改善して解禁されたき旨要望があつてゐたので殖産課では衛生課とも協議してその後極力その可否に關して研究中であつたが三十日の審議會に於て審理の結果河豚解禁に關する廳令を公布することに決定を見たので長官の決裁次第近日直に施行さることゝなつたのであるが但し小賣に就ては必ず危險なる内臟等は除去洗滌して賣るやう規定し若しこれに違反したる時は拘留或は科料に處せらるといふ嚴しい定めが附されてゐる

倉庫燒く
今曉沙河口で

三十一日午前一時十分ごろ市内沙河口霞町十八番地滿鐵工事事務所沙河口工事所長裴倉庫より發火せるを附近居住民が發見急報によつて馳つけた大連消防署員の活動によつて同二時十五分倉庫一棟を全燒して鎭火した損害約一千圓、原因は作業員の煙草の吸殻らしく沙河口署にて目下調査中

塗料藥品發火

卅一日午前二時半ごろ市内伏見町南滿工專附屬職業部塗料品置場より發火してゐるのを宿直員が發見沙河口霞町工事々務所火災に出動中であつた消防署員が直に引返し大事に至らず消し止めた、原因は塗料藥品の自然發火らしく小崗子署にて目下取調中であるが損害は僅少

蒲田從業員が 慰問品を送る

【東京特電三十一日發】在滿駐屯軍に對する國民感謝慰撫の念は今や各方面に益々昂まりつゝあるが今回蒲田撮影所の全從業員は駐屯軍の將卒に慰問品を送る事に決定實行委員を擧げて準備中だが近日發送される筈である

苦力が爭論し 大針で突刺す

三十日午後二時半頃第三埠頭五十八倉庫内において市内寺兒溝居住三井物産苦力呂順兒（一七）は大豆袋の修理中折柄電氣トラックがその附近を通行したので福昌苦力郭緒安（二一）が邪魔になるからと注意を促したところ遂に爭論となり呂は十六歳の青二才にかゝわらずいきなり麻袋修理用の大針で郭の胃袋目掛けて突刺し瀕死の重傷を負はせた呂は直に水上署に逮捕、郭は[illegible]江病院に入院せしめた

早大校友會　早大校友會有志は今回内地より森本代議士並に阿部賢一博士の來連を機として十一月二日午後四時より大廣場ヤマトホテルに於て歡迎會を催す申込は光風臺一七七坂梨榮雄氏宛のこと

航空會社移轉　日本航空輸送株式會社大連營業所は十一月一日より大連市連鎖街常盤通へ移轉し事務を取扱ふことになつた

吉田家不幸　極東週報社長吉田親數氏令息壽東雄君（一九）は豫て別府に轉地療養中であつたが二十七日午後一時死亡した、遺骨到着次第葬儀を營むと

衣類寄贈　市内沙河口元町二〇五番地乙部宗雄氏は去る六月原籍地に歸省中死亡した長女の衣類廿三點を貧困者にと三十日朝沙河口署へ寄贈した

菊花展　沙河口社員倶樂部園藝部では例年の通り十一月一、二、三の三日間菊花展覽會を沙河口社員倶樂部に開催一般の觀覽に供すと

鏡ケ池のボート　大和町鏡ケ池の貸ボートは十月上旬から無料で使用を開放して來たが明治節を以て閉鎖するのでこの際なる可く多數の練習を歡迎すると

ビクター賣捌店　日本ビクター蓄音器會社の滿洲總賣捌店は今後山葉洋行をして一切の業務を取扱はしめ斯業の振興を圖ることゝなつた

天氣豫報（一日）

南西の風 晴

各地溫度

	卅一日午前十一時	卅日最低
大連	一八、三	八、四
旅順	一六、〇	八、二
營口	一四、〇	零下二、四
奉天	一一、九	同 一、五
長春	一二、三	同 三、二

滿潮（午前一時十分 午後一時五十五分）
干潮 午前七時五十五分 午後七時十五分
けふの小洋相場（正午）金百圓は二二七圓九五錢

暗流阿修羅館 (229)

生田蝶介
挿畫 藤井耕邊

黒い海 (四)

「これは椅子といふものだ、腰をかうして下せばいゝ」

と、老人は云つて別な椅子に、自分で腰を掛けて見せた。

「なる程」

云つて、こわごわ、甚吉が腰を下すと

「あ！」

すとんと、その小さい身體が埋まつてしまふかと思つた。

何か妙に、日本でないやうな匂がする。焦げくさいやうな匂がする。濕くさいやうな匂がする。甚吉少年は頻りに鼻を動かしてゐた。

(どうも怪しいと思つてゐたが、このやうな不思議な部屋がある、どれもこれも日本の品物では無いらしい)

「さて、疲れたな。茶なといれようかな」

老人は其所へ甚吉だけ殘しておいて、この部屋から出て行つた。

甚吉には役目がある。この家の中から何か探し出さなければ奉行のもとに歸れないことになつてゐる。

一人になつて、甚吉の目は光りはじめた。

四つ足の高い卓の上にいろいろのものが置いてある。

(みんな異國のものらしい、どうしてこんなところに、このやうに異國の品物があるのだらうか)

第一、それが何處のものだらう奉行に見せるために、卓上の金色の小匣を一つ、手早くとつて腰巻の中に入れた。

むかうの部屋の隅には重さうな簞笥がある。黒い中に、紫陽花色に光る模様が填込んである。

(あの中に何が入つてゐるのだらうか)

猿のやうに、卓の下を潜つて、その簞笥の方へ近づいて、戸棚に手をかけ様とすると

「エヘン、エヘン」

と廊下の方で咳拂ひがした。

甚吉、びつくりして、あともどりをして、何食はぬ顔、ちんまりと椅子の上にゐた。

「いや、待たしたな、淋しかつたであらうな、いま茶がはいる、何か菓子をもつて來るとすだ」

「あ、やはり、どなたかゐたのですか」

「ゐたよ、ゐないかと思つたら、ゐたよ、いまにこゝへ來る。それが不思議なことには、お前を知つてゐるらしいのぢや」

「私を？」

「思ひ出せないかな、いづれ來たらわかるであらうが、それまでに考へておくとよい、一興ぢや」

「わかりません」

「さう早く匙を投げいでもよい、ゆつくり腕を組んで考へるがよい」

卓の上の飾燭臺の五本の蠟燭が同じやうに縮んだり伸びたりする。

甚吉少年は割に大膽だが、でも子供のことだから、見當がつかず不安になつて來てもゐる。

(これからさきどうなるであらう、この老人は別に惡い人のやうには見えないが、それでも、こつちの心持ちを何もかも知り拔いてゐるやうに思へる、さうすれば何もかも探れないわけになる困つたな)

するとき、廊下を、さやくと衣ずれの音がして、何者か近づいて來るやうであつた。

い、薫りが流れてくる。

何が近づいて來るのであらう、少年は一寸あまりいゝ氣持ではなかつたので目をつぶつてゐた。

女である。若い女である。女は異國の茶碗に異國の茶をいれてもつて來た。

少年は目をあけた。

キネマと演藝

賑やかな興行界
日曜日から明治節へ

一日の日曜日から三日の明治節へかけて興行界は俄然活躍を呈するものと期待されてゐたが、圖らずも大日活が「モロッコ」の上映を延期し、いさゝか華やかさを失つたが、各館の特別興行に對抗して大衆興行に出てゐる、これに對して常盤座は大和ダンスを呼物にして總輪「マグメフトの王子」を添へ、帝館は濱田の特作品「東京の合唱」と右太衛門の「澁谷くづれ」の優秀プロを組んで陣容を固めてゐる、大連劇場は一日から高級萬歲の橘家太郎菊春一座に女給君江小夜子を特別加入せしめ宣傳に努めてゐる、その他今夜と一日の午後は協和會館に大連舞踊研究所の體操舞踊デモンストレーションがあり、更に一日午前は常盤座でパテーベビーの子供デーが催され、今夜は川口彦太郎氏の歡迎茶話會と舞踏會がヤマトホテルで開かれる等近來にない賑やかさである、

女給小夜子君江の二部合唱

既報の如く大連劇場に一日から出演する高級萬歲橘家太郎菊春一座に女給小夜子、君江が特別加入して出演するが、兩名は舞臺挨拶の他、左の如き小夜子の唄と二部合唱すると

小夜子の唄

一、戀し京に別れをつげて神戸港は五色のテープ瀬戸の内海玄海灘も涙の花咲く船の旅び

二、月が出てゐる滿洲の濱よ西も東も戀しい世界心もえ立つ二つの星が晴れてこよひのステーヂに

三、胸のエプロンさらりと取て長いふり袖唄て踊り君江さゝげた小夜子の心せめてこよひの御ひいきを

東活河合協定

高村正次氏等の大衆文藝映畫はいよく歌川絹枝鈴村京子椿三四郎等で河合巣鴨撮影所を借受け第一回作品に着手する旨傳へられたが阿部東活撮影所長が河合徳三郎氏と會見隔意なき意見の交換を行つた結果、河合氏は安部氏との間に相互に俳優の爭奪を行はざる事巣鴨撮影所を大衆文藝映畫に提供せぬこと といふ契約成立した

觀世俱樂部

第六十二回月次會を三十一日夜七時から神明町同俱樂部で開催、番組は三輪、[illegible]、鉢木、蟬丸、紅葉狩等

噂話

東活の根津新監督が「北滿の落花」映畫化の準備に昨日奉天經由で來連した▲撮影所の宣傳」は二十九日入港の香港丸で來連する筈だつたのに影も姿も見せないので▲一體どうしたことかと思つてゐる矢先、陸路廿八日に奉天に來てゐたのだつた▲二三日滯在してまた赴奉するが、原作者岡田猛馬氏の案内で大分忙しい様子である▲南座から熊本の電氣館へ轉任した中野松竹事務員から挨拶状が來たが曰く「ダイレンは親しみ易い良い處でした」とある▲これは却々意味のこもつた聞き捨てならぬ文句だとカフエー街の噂である▲彼氏が大阪松竹樂劇部出身の美しい奥さんを持つてゐたことは餘り知られなかつたらしい▲明日常盤座の子供デーに使用するパテーベビーのルックス型映寫機は約四百燭光の強力な光源を有し九ミリ半で常盤座の如く一千人以上を收容する場所でも充分威力を發揮する優秀映寫機であると

九十三歲楊先生

一般近海市況は極度の不振

歐洲方面は下旬に入り活況

十月中の海運界

大連港を中心とする十月中の海運界を概觀するに先づ

近海方面　では、排日の影響益々甚だしく、就中內支那方面と內地間の貿易は殆ど停止の狀態に陥り、一方北洋方面の船腹需要も亦一段落を告げ、その他イギリス船、ノールウエー船の遠洋市場活躍のため社外大型汽船は大なる打擊を被る等、一般近海市況は極度の不振を示し、標準運賃たる若松―濱石炭は六十錢臺に慘落した、これがため大連內地間市況も極めて不振で、月間橫濱行豆粕撈四錢にて積取契約をなした社外船もあつたが、定期船は新穀の出廻りの關係もあり、劣々未だ大型船の臨時廻航をかりしため阪神豆粕五錢、橫濱六錢、袋物各一錢高にて滿船出帆した、九州方面は比較的荷動き旺盛であつたが一般の情勢に押され、臺灣方面と共に前月より一錢安の豆粕九錢、袋物十錢で滿船した、次に

歐洲方面　にあつては、中旬頃まで折柄の端境期と時局並に歐洲財界の不安等により、取引も殆ど停止し、月初入港船の如きは大豆十志臺の低率を以てしても尚且つ商談を促進すること能はざる慘狀であつた、然るに新穀も漸く出廻りを開始し、且歐洲財界も稍安定を見、下旬に入るや、反動的の買氣擡頭し、船主側の配給手薄と相俟つて市場運賃率は急騰し、近物二十三志見當を現出し、從つて先物もその影響を受け、二十四五志を唱へたが、未だ今後の歐洲財界の動搖を豫想するさ、一方配船難に苦める社外大型滿船物の出現を豫想し、取引は殆ど期近物に集中せられた、從つて成約は主として十一月、十二月物に限られ約四、五萬噸の取極めをみた、尚既報の通り歐洲復航同盟は磅相場下落對策として、荷物全般に對し、本月十九日後一割値上げを實行したが、引上氣運に刺戟せられ、久しく沈滯せし豆滿取引は一時的に活況を呈し先物を合せ約七、八千噸の成約があつた、更に

米國方面　は賃率には何等の變化なく、依然雜穀運賃二弗七十五仙を唱へてゐるが大平洋、大西洋共に米國關稅策の影響を受け、漸次荷動き減少し、月間約三千噸內外の取引をみただけである

對英クレヂット米佛が承認

千五百萬磅づゝ三ケ月間

【ロンドン三十一日發】英蘭銀行の發表によればフランス銀行ニューヨーク聯邦準備銀行は八月一日許容せる對英クレヂット各二千五百萬磅が十月卅一日滿期となるのでそれ〲千五百萬磅宛三ケ月間の對英蘭銀行の要望に對し新に米佛そして新舊クレヂットの差額は二千萬磅でその決濟を決定し一部として千五百萬磅の金塊を賣却手續き中である

米國金融界順調

米大統領の言明

【ワシントン三十日發】フーヴァー大統領は三十日記者團に對し左の如く語つた

イギリスが金本位を停止してから我國でも正貨引き出しが蔵が每週二億弗を算し地方銀行中にはこれが爲め營業困難となるものさへ出で、また金流出も週二億弗に上り困つた現象であつた然しその後形勢一變しこの二週間非常に順調となつた、これはアメリカの財界眞相が正しく理解され始めた結果で最早や心配はない

紐育準銀利上げか

二、三週間內に

【東京特電三十一日發】ニューヨーク二十九日發電＝米國の引續く金流出に鑑み聯邦準備銀行の第三次利上げが氣構へられてゐたが本日は遂に利上げを見なかつた、然し銀行家連は二、三週內には利上げが斷行されるかも知れないと覺悟してゐる

日清汽船が四隻繫船

排日の祟り

【上海特電三十一日發】當地日清汽船會社支店では排日による事業不振のため上海漢口間の命令航路就航船八隻中洛陽、鳳陽、大福、大定の四隻を繫船するに決し遞信省の許可を得て十一月一日から實施する事となつた、同會社の繫船はこれで他の自由航路の十隻を合し十四隻である

紛糾する最近の中央卸市場眞相

(四)　卸賣人脫退後の動き

前回に述べたやうな經緯によつて脫退した以上、脫退組の脫退後における動きが殘留組の切崩しに向けられることは容易に想像されるところであつたが、なほ脫退組が自分らの立場を有利に展開するためには是が非でも殘留組の卸、仲買人を切崩すべく狂奔せざるを得ない前情があつた、といふのは脫退組が日本柑橘中華民國輸出組合の荷受權を握つたとしても、元來脫退組はあまり直接集荷の販路を有たず大連に卸すものでも從來大部分を支那側仲買人に賣捌いてたりして今後もさうするよりほかなかつた

然るに支那側仲買人の有力筋は殆ど大部分市場仲買人であり、これらの市場仲買人は市場規則により市場外で市場取扱ひ品を仲買することを禁ぜられてゐるからである

◇

從つて脫退組の殘留組切崩し運動は猛烈を極めた、それがどの位激しかつたか、脫退組が用ひた文句を二三あげてみやう

曰く、市場に殘留すると取扱高と卸賣人の減少のため市納付金が倍加する

曰く、蜜柑は大丈夫我らの取扱になるが市場に留る仲買人は規則に縛られてそれを取扱へない

曰く、全部脫退すれば市場がつぶれ市民は八釜しくいふので市は我等の復歸を賴んでくる、そこで補償金も三十萬圓でも貰へるのだから使用出來る筈で、既に官廳の諒解を得てゐる

曰く、脫退しても市場は市民のものであり、こんな工合に出たらまば日貨排斥になるぞといふやうなその他非道いのになると脫退せねばならぬ

がせの言葉が多いのは相手が事情に暗い支那人だからである

◇

この切崩し運動は最近まで熱心に續けられたが後に述ぶるやうに支那人側は利害關係が全然一致しないので脫退を肯ぜず大體において失敗に歸した、ただ脫退組が輸出組合の荷受權を握るに及んで、即ち十月十四日主として蜜柑を取扱ふ殘留組の卸賣人三名、仲買人四名を引拔いただけである、ここにおいて荷受權獲得の經緯を述べ

◇

ばならぬ

前にその組織を述べた日本柑橘中華民國輸出組合では新販賣方針を定めるため吉益理事長、防野常務理事、高橋技手を大連に派遣し一行の着連したのが十月十二日、直に脫退組に關係され初めて中央市場における最近の混亂を知つた、ここにおいて一行は絕え間なく繰返される市場紛糾に鑑み折角の市營一制は容易に實施されそうにないさいふ見込を立てる一面において今や脫退組に荷受させた方が輸出組合において唯一の卸賣人となり得て年來の宿望たる値付取引をそのまゝ實施することが出來る而して昨年の指定職人たつた殘留組(一行在連中に六名より三名に減つた)は有力だから輸出組合の理事上これにも取扱はせればならぬさいふ腹をきめたらしい、こ

國民政府實施の關稅附加稅

【上海三十日發】國民政府が實施せんとする關稅附加稅は左の通りである

一、十二月一日より明年七月三十一日まで一割

二、明年八月一日より米國から購入する水災救濟用小麥代支拂ひ完了まで五分

三、課稅に當り軍需品として免稅さるゝものは左の如し

綿布、綿糸の一部、綿製品の一部、海產物の一部、小麥粉、卷煙草、葉煙草

なほ海關當局は財政部よりの指令に接してゐないから實施方法については何等發表出來ぬと稱してゐるが、十二月一日以後輸入申告受附のものから課稅するものと見られる

滿洲經濟問題で緊急商業部會を開催

十一月四日に大連商議にて

大連商工會議所では十一月四日午後三時より緊急商業部會を開催することに決定、去三十一日各部員あて通知狀を發した、會議の內容は時局に處する滿洲における經濟問題を議するもので、去る二十七日篠崎書記長が奉天の軍司令部より呼出を受け滿洲における緊急諸種經濟問題について諮問されたる事に對して討議するものである、當日の討議を經て再び篠崎書記長は十一月十日ごろ赴奉、軍司令部に對し種々建議することゝなる模樣である

滿洲林檎の海外輸移出

一般に悲觀的

滿洲林檎の本年度海外輸移出は三井の手によつて委託販賣が行はれてゐるが、相場の狀況は各方面とも一般に悲觀的である、即ち期待をかけられてゐた南洋方面は一箱三圓內外にて運賃を差引けば手取はその半に過ぎないので目下二圓どころを唱へてゐる有樣である、然るに南洋向けとして準備してゐた關係上一箱百個以上は入る小玉多き積出してゐる內地都市に多く、も小玉は內地に向かず不利益な立場

十月末限の大豆高粱

大連特產市場における大豆高粱十月末日限は三十日前場を以てそれ〲納會を告げた、大豆は賣買總出來高四千三百八十車、受渡高三百四十三車、受渡標準値段五圓四十六錢で前月限に比し、賣買總出來高では一千八百九十七車の減少、受渡高では三百八十五車の減少を示し受渡標準値段は十三錢方の安値であつたなほ公定相場は最高六圓六十三錢最低五圓廿二錢でこの開き一圓四十一錢である、受渡の手口を示せば左の如し(單位車)

▲渡方

東永茂	九	福和盛	一一
廣永茂	三	興茂東	一五
公濟棧	五	益發德	一一
益發合	一四	丁新昌	二九
裕昌源	一四	裕發祥	一一
順發公	一一	日清	二一
瓜谷	三三	三泰	六七
成發東	一五九		

▲受方

忠興厚	一一	乾聚和	九
福聚恒	一一	廣源泰	一〇
昇源	一五	豐年	二三八
三井	一四	三菱	三五

次に高粱は賣買總出來高八百七十七車、受渡高二十五車、受渡步合二分九厘弱、受渡標準値段三圓十七錢で前月末日限に比し賣買總出來高では五百四十九車の減少なるも受渡高では十一車の增加を示し受渡標準値段は十九錢方の安値であつた尚公定相場は最高四圓丁度最低二圓九十八錢でこの開き一圓二錢である、受渡の手口左の如し

(單位車)

▲渡方

東茂泰	五	東永茂	三
益興德	三	協和棧	一
裕昌源	二	順發公	一

▲受方

双聚福	一	福順厚	
福源	三		四
丁新昌	一五	福聚昌	二

北滿新大豆の出廻一般に遲れ

例年に比べて商況は不活潑

乾燥程度は至極良好

北滿產新大豆の出廻りおよび品質概況を見るに

出廻概況　本年度は各地とも收穫時期が約一旬日遲れただけでなく時局紛糾のため取引は一時停頓し且つ南部線地方では敗殘兵の跳梁等があり、これ等の諸因が相錯綜して僅に驛附近のものが搬出されるのみで例年に比し出廻は一般に遲延し、廿三日現在で南部線では三岔河が十月十二日、陶賴昭が十月十六日双城堡が十一十八日、蔡家溝が十月廿三日にそれ〲混保受託を見たのみで商況は甚だ不活潑である、即ち南部線について見れば十月廿三日までの新混保受託數は本年度一五七車、五年度一八一車と四年度七六車で本年は最も惡い然しその後採算は幾分有利に展開されたため今後は相當活氣を呈するものと見られてゐる、唯此處で注目に價することは例の一面坡打切撥で、中東線の一面坡打切撥は南部線

三岔河にまで及びワッサルドエクスポート・フレーザー社は十七日から東行大豆の買付を再開し三岔河において一面坡・フはワッサルドから東行十中東車を開始し双城堡ではエ・フが十中東車を買付けた一面坡打切としてゐる

▲ワッサルド

十九日	一二〇〇噸
二十日	二九七同
廿一日	一九八同

▲エクスポート・フレーザー

廿一日	九九噸
廿三日	二九十同

以上の事實から見るもはまさに商戰活劇の幕は出廻初期から同線に對し一大脅威を感ずることは豫想するに難くない、尚は出廻期における何等事變に關係はなく車線を見てゐる

大豆の品質　本年度の北滿地方の氣象狀況は大豆の成育に好都合であつたため一般に農作物の成育は外觀的に品質もまた必ずしも良好とは言ひ難い、然しこれ等地方全般的に亘る大豆の品質は出廻繁盛期に至らない以上これを斷言することは出來ない

大豆の乾燥程度　九月下旬において連日に亘る降雨があり、從つて一時水分過多の大豆の出廻を懸念されたが本月に入るに及んで溫暖快晴、その乾燥は至極良好である、從つて今後の天候に著るしい變化のない限り各地共乾燥良好含有水十一％內外は豫想される

十月下旬の對外貿易

【東京三十一日發】大藏省發表＝十月下旬對外貿易概况左の如し(單位千圓)

輸出	三四、七七六
輸入	二九、五〇二
出超	五、二七四

イギリスの輸入制限法案

クリスマス前提出されまい

【東京特電三十一日發】ロンドン三十日發電＝總選擧の結果は協力內閣の壓倒的勝利となり愈々十日新議會開院式を舉行する段取となつてゐるが、クリスマス前の議會は極めて短期間でその間政府が問題の輸入制限に關する法案を提出する事はあるまいと觀られてゐる

十月限の株式受渡高

五品取引所における十月限株式定期受渡高は株數一千三百枚代金一萬四百圓、一株平均値八圓で之れを前月の受渡高に比較すると株數千八十枚、代金九千六十圓の減少を示し一株平均値も十八錢の値下りを示してゐる

商品市場の十月限受渡高

大連五品取引所における十月限延取引鐵筋新麻袋六萬枚、代金一萬二千百八十圓、定期取引鐵筋新麻袋六萬枚、代金一萬三千五百圓、綿布軍人標五十五俵代金九千六百五十六圓、綿布人拖魚標五俵、代金二百六十六圓、綿布象花標二十俵、代金二千九百十二圓であつた

州內農作物九月中作況

關東廳內務局殖產課の調査に依る九月中の州內農作物作況は左の通りである、

前月中旬より下旬に亘り炎天多く例年に比し氣溫低下した爲め一般作物の熟期は約十日間遲延せるも下旬迄には大體收穫を終り目下調製中である、普通作中包米は平年作に比し約一割五分、高粱は約一割增收の見込であるが粟は夜盜虫の被害を蒙つた爲め平年作に比し約一割減收の見込みである、蔬菜類中秋作の白菜、大根は前月までは一般に成績良好で本月に入り白菜は腐敗病、大根は蚜虫發生し相當の被害を蒙つたがその他の蔬菜類は比較的良好である、水稻は

獨逸經濟難局打開顧問會議

【東京特電三十一日發】ベルリン二十九日發電＝モラトリアム案實施も捗々しからず依然經濟不況の重壓下にあるドイツは今回新に任命された經濟顧問會議はブリューニング首相、ドイツ國立銀行總裁ハンスルーテル氏等政府及び財界の錚々たる人物を網羅して本日當地に開會された、 賀頭大統領ヒンデンブルグ元帥は開會の辭を述べて海外の事情を考慮する事なくドイツ刻下の危機を打開すべき方策を立案すべき事を要望した

米船舶院船舶移管

【ワシントン三十日發】米國船舶院の船舶は本日新設のユーナイテット・ステーツ・ライン會社に移管された

華南

◇…英國は今次の滿洲事變を機會に支那における商權の恢復を行はんとしてしきりに火事泥的策動を試みてゐる、いよく紳士國の假面をかなぐり捨てた譯だ。

◇…認識不足の國際聯盟會議で支那の肩を持ち裏に廻つて日本の在支商權の驅逐を策しつゝある等がその露骨な一例である。

◇…最近では排日貨を利用して我國の在支工業を驅逐し自國の手で大規模の紡績製織工場建設を企て百五十六萬磅の機械を賣込んでその代金は團匪賠償金返金の一部と棒引にする計劃だそうだ。

◇…更に南京政府の東三省攪亂策動にもその裏面で英人が糸を引いてゐると傳へられてゐる。

◇…ロシアも又このドサクサに乘じて一擧に北滿の利權乘取りを企て國境に兵力を集中しつゝある。

◇…親交ある友邦を斥けて前門の虎を逐へ後門の狼を入れんとする南京政府の血迷つた政策には大亞細亞主義に則して聯邦日本の提携を高調した孫文氏も地下でさぞかし失望してゐるであらう。

◇…國權擴張に焦躁のあまり血迷つた南京政府――それは支那自ら半世紀前の國勢に退步そうとしてゐるのだ、日本は支那の迷妄を覺ます意味からしても一つグワンと喰はせる必要がありそうだ。

市場電報

銀塊及爲替

棉花

大阪期米

東京期米

神戶期米

大阪株式

東京株式

市況(卅一日)

特產

銀高を移して大豆低落

今朝の定期は銀價の堅調を移して一般に氣配軟弱を示し殊に大豆は低落を辿り高粱は實需見送りで出合す概して閑散裡に大引

◇定期前場(銀建)

錢鈔

上海標金軟弱當市昂騰

今朝海外銀塊は倫敦近物十七片十六分の十三(十六分の十三)同先物十七片十六分の十三(十六分の七高)紐育三十仙八分の五(四分の三高)孟買五十八留比丁度(一高)と一齊昂騰し上海標金は九十二兩五と安寄りアト軟弱氣配を入れたので當市は昂騰した、滙申七十二兩七〇、新規六十九兩七五、大洋百二圓二十錢、米英クロス八十六仙丁度(二分の一高)米支三十二弗四分の一(八分の一高)米日四十八弗九十五仙(二十仙安)

◇定期前場(單位錢)

◇現物前場(單位錢)

豆

銀價の昂騰を眺め各品共一齊に氣配を弱めたが▲殊に大豆は騰後の反動もあつて低落を概して取引は現先共に閑散に推移した

銀

銀塊の一齊高は爲替安に依るのう▲銀塊から言へば當市

株

定期受渡高は五千三百枚で他

糸

株式

內地變らず五品小聢り

北濱短期の寄は大新六十錢四十錢東新五十錢高東株新も七十錢高を入れたが

商品

麻袋昂騰し綿糸も反撥

貨物在庫埠頭

10月25日　(單位噸)

品目	本年ノ本日	昨年ノ本日
大豆 混保	113,143.2	20,048.8

定期受渡

家庭

石炭を 經濟的に焚くには必ず併用のこと

ストーヴのシーズンを前に主婦たちへお傳へ

一食拔きにしても石炭なしには過ごされぬといふ滿洲で、どんな種類の石炭が品質がよくまた經濟的であるか、また如何にしたら經濟的に焚けるか位は既に一家の主婦たる方々は研究し盡されてゐるでせうが、次に滿鐵石炭販賣部について聞いた石炭の値段、焚き方をお傳へしませう

高い 〱と市民間に不平をいはれた石炭も今年の四月から値下げして今冬は昨年に比しますと、一圓から二圓安の石炭が焚けるわけです、次にその値段を掲げませう

撫順塊炭	で一噸	一四圓〇〇
同中塊炭	同	一三、八〇
同切込炭	同	一二、五〇
同九煉炭	同	一四、五〇
同並塊炭	同	一〇、七〇
同並粉炭	同	一一、二〇
本溪湖小塊炭	同	一五、〇〇
同中塊炭	同	一四、五〇

普通家庭では撫順中塊炭が多く用ひられて居ます、これは焚きつけ安いものですから

家庭用 に向いてゐるのです、お風呂用にもよく用ひられますが、これも家庭の人がすぐ入つてしまはれる場合は結構ですが、そうでない場合は初めは中塊炭を用ゐましても後は煉炭を用ゐるといふやうにしますと火持ちもよく

經濟的 です、家庭では粉炭が混入してゐると今度のは粉炭が入つて惡かつたなど、苦情が出るのですが、それなども石炭の用ひ方を知らない方のもされる文句なのです、經濟的な焚き方としては粉炭と中塊炭を混ぜるのがよいのです、それは中塊だけ焚きます場合、炎は

塊炭を ぐるりとつゝみよく燃燒しますが、この場合早く燃えてしまふのを免がれる事は出來ません、ために石炭も澤山要るわけなのです、斯うした時に粉炭を用ゐますと塊炭と塊炭の間に粉炭が這入つて早く燃燒するのを防ぎますためそれだけ火持ちがよいわけなのです、だから石炭庫から石炭を少しづゝ運び出す場合には塊炭だけを掬ひとるといふやうにせず、兩方を共に掬ひとるといふやうにしたら粉炭ばかり殘る事もなく經濟的に使用出來るのです、切込炭はこればかり用ゐますと

不經濟 です、これは落ちる粉炭が多いからなのです、本溪湖小塊炭及び中塊炭は、火はつき難いのですが、火持ちが大へんよく煙が割に少いのです、然し焚いてる中にねばる性質をもつてゐますから氣をつけぬとロストルを壞はしてしまふ事があります、また五十錢位の差額のため安い方にと走られる方がありますがあれなど餘程考へて買つていたゞきませんと、專門家でしたらどんなのでも焚きこなせるものですが、家庭では焚き方を知らないため大へんな損をなさる場合があるのです、煉炭には、一號二號と

種類が あつて、一號は煙塞炭だけで製らへたもので、火持ちは大へんいゝのですが初め焚きつけにくいのです、二號は煙塞炭、撫順炭の二種を同等に混合して拵へたもので一號に比しますと火持ちは劣りますが大へん焚き易いのです溫水煖房には煉炭が最も適して居るやうです、石炭使用上最も必要な事は石炭を混ぜ合はせて用ゐる事です、混ぜ合はせるとご申しますと間違つてごつちやくたにさせるのですが、そうでなく、別々にしておいて、併用することなのです、斯うしますと、手數は少々かゝりますが燃料を經濟的にすまされるのです

贈答品だけは迷惑せぬものを

兎角見得ばかりを考へて眞心の現はれがない

人 のよろこびに悲しみに同じ心になつて、よろこびをわかち悲しみを慰めやうといふやさしい人間性が贈り物となつて具體的に表現されたものとすれば、贈り物といつて一がいに排斥すべきものではありません、そしてその贈り主の氣持ちに重きを置けば品物の立派さとか價格の高低などは殆ど問題とされない筈です、ところが今日の社會では一般にこの精神は忘れられて贈る方でも殆ど慣習的にこれを行ふだけで、從つて

贈 られる方でもその品物の立派さとか價格によつて贈物を評價する傾向があります、贈る側では「いくら位」で「見場のよい品」といふ事が第一の着眼點となりますし、もらつた側では受けた感謝より返禮の心配が先に立ち却て苦痛の種になる場合が少くありません、かうして贈答はいよ〱形式に流れ、品物をよりよく見せよう爲には內容よりも包裝に贅を盡し例へばあの菓子箱のやうに揚げ底をしても

箱 を大きく內容を澤山に見せやうとするやうになつて了つたのです、箱が重くなつたり、包裝があまり凝つてゐたりすれば自然歩いて行ける所も俥や自動車の厄介にならなければならず不經濟なことお話になりません、かうして慣習になじみ體裁に腐心する結果はあの結婚のお祝品に見るやうに牛紵や履物等が山と積まれたり、出產のお祝に要りもしない着物や布地が枕邊を埋めるといふやうなことになるのです、これでは貰つた方でも有難からう道理がありませんし、要らないからといつて

金 にかへるわけにも行かずかといつて返禮はしなければならず、結局お互に經濟的な負擔ばかり負はされて贈り主の好意などゝこかへ消え失せてしまふのが當然です、かうなれば誰しも贈答全廢を叫びたくなりませう、しかも眞に心の籠つた、受る人の立場を考へての贈り物であれば決して相手に迷惑を與へる筈がなく共によろこび共に悲しむ美しい情愛のあらはれとして先方に滿足を與へることは疑ひありません、これから先でしたら老人に暖かい毛糸編物を編んで贈るとか、子供に教育的な玩具を贈るといふやうなのは煩雜と不經濟とを省いて

受 ける者にもどんなに歡ばれるかしれません、極親しい間柄であれば「この位の金額の物で何が一番お役に立つでせう」と相手方の希望を聞いて贈つてもいゝでせう、場合によつては品物よりも商品券又は現金で贈つた方がよろこばれるかもしれません

珍寫眞二つ

この二枚の寫眞は南アフリカよりの便りで近頃珍らしい寫眞です、上は年に一度の盛裝の踊りを了へてヘト〱になつた土人達で、小さいのがこの仲間の頭目のせがれで特に彼を保護するために楯を持つた強いのが控へてゐるこの踊は勿論蕃人通有の神樣に對する捧げもの、下は彼等の住家で文明の器に接することの縁遠い彼等は自然の加護によつてか「冬暖夏涼」といふべき非常に住みよいハハツを造つてゐます

和洋裝ともに狐の毛皮全盛

これにもピンからキリまで

▼…大連市 の白晝を行く狐の群――なんていはうものなら皆目をそばだてるでせう、ところが大連市はおろか東京でも、ニューヨークでもパリでも秋から冬にかけて夥だしい狐が街頭に現れるのです。マダムのきやしやなうなじはおろか、町のお內儀さんの首にも、月給三十圓の女事務員の肩にも狐の頭がぶらさがる今日です今や狐の毛皮は世界中のあらゆる女性の憧れの的です「女中のくせに狐の毛皮なんぞ欲しがつて…」なんてけなしちやいけません

▼…兎に角 一九三一年―一九三二年は洋裝にも和服にも狐が全盛です。もつとも一口に狐といつてもピンからキリまであること勿論です。中產以下の、ごく大衆向のあの狐はシベリヤ狐と呼ばれる野狐です。滿洲では內地品よりもシベリア、カムチヤツカ、蒙古、北滿あたりのものがやすく手に入ります、でそのシベリア狐といふのは色はいろ〱ありますが毛が幾分あらく艶もあまりよくありません、從つて値段も十二三圓から最高百圓どまりです

▼…これも 毛皮の大きさ色、艶、毛のやはらかさ、密度、なめし工合等によつて差額のある事は申すまでもありません。カムチヤツカ狐になると毛のやはらかさ、つや、密度、色など斷然シベリア物を壓して、一番多い紅狐(金狐ともいひます)でさへ八十圓から二百圓近い値です、高級品とされてゐる十字狐――これは首のまはりに黑い輪があり、頸から尾にかけて黑い縞が拔けて首の背のところで十字を書いてゐるからこの名があります――や白狐になると百圓から三百圓の高値です、「アジアの嵐」で一躍著名になつたシルバー、フォックス即ち

▼…銀狐は 黑狐の一種で黑狐が寒い〱雪の原で年功を經るうちに尾から體にかけて銀色の毛を生じたものです、あの映畫にも見るやうに全身にわたつて銀毛の生じたのは極めて稀で尾の部分だけ銀色になつたものでも銀狐、銀狐ともてはやされて四五百圓の高値を呼んでゐるといふのですから、あのすばらしい銀狐が血を流すやうな鬪爭をひき起したのも無理ありません、でとにかく黑狐は銀狐に類するものとして斷然狐の王位を占めてゐますが持ちやあたゝかさの點では普通のシベリア狐と大差ありません――それから今年は鎖付は全くすたれて口にかませるのがモードなんださうです。【シベリア商會調べ】

戸外デーを前に 冬の健康增進に就て (10)

多少極端な戸外生活の實驗

吉川義章

六月東京に行つての歸途、門司で長友大阪每日關門支局長藤井公平君を訪ふた、君は裸運動の權威者で机上の屋野龍猪氏著「ハダカ日光水」と云ふ本を私に贈られた同君は門司で山野を裸で跋涉して居られる其道の先覺者である、私は船中で此本を見て善は急げと歸連後直に裸運動を始めた。

日光浴 と健康――日光中の紫外線が人體に必要なヴイタミンDを生成するに如何に效果があるかは醫學者に定說があるから敍說を要しない、只問題は風紀と習慣上可笑しい樣な變な關係がある、裸で宅を出ることは一寸家內等の反對があつたそこで宅を出る時小一丁許りは海水着(それも成るたけ肉體の露出面の多いのを選び)を着て出るが直にそれも脫いで丸裸でモツコ褌一つになつて屈ケ浦の海岸や山を歩き廻る猿股と褌では肉體の露出面積が大分違ふなるべく露出面の多いのがよい、越中褌でも六尺より越中褌、越中褌よりモツコ褌が肉體の露出面が多い

モツコ褌と云ふのは **越中褌** の前を後同樣に紐で通したもので落る處もなく體裁もよく至極結構である、此風體で海岸や山をノサバリ歩くのだから最初は會ふ人每に一寸變な奴だと思つて見返るが幸ひに場所柄丈けに早朝の海水浴だと思つてゐたらしい、それでいゝ氣になつて愈々平氣で後には宅から裸で出かけるそれでも申譯に片手に海水着を攫んで出た十月十四日の今日も尙實行してゐる、只此頃は日出前とか曇つた日は寒いから日出後、風の餘り強くない日を選んでやつてゐる、又裸の程度と方法とを多少違はしてゐる、先づ宅からは浴衣の寢卷の上にちよつとセルの單衣を引つかけて出かけ日當りのよい處に出てから上半身を裸にし次いで裾をまくつて着物全部を腰の邊に卷き付けて歩く、寒いことは少しもない、殊に

薄着を してゐるより日當りの裸は暖かい、少し寒くなれば一寸驅足をやつて止まつたら柔軟體操見たやうな四肢の運動をやる散歩が濟んだらバルコニーに出て丸裸になる、此時は夏と同樣にモツコ褌一つになるが寒くはない、バルコニーで風當りを防ぎさへすれば日向ボツコで何時迄やつて居ても寒くない處か背等はポカポカ熱くなつて居眠りでもしたい位である、室內でも夏の間は出來る丈け裸で居る、人が來ても氣の引ける事はない、却て裸の效能を說明して裸體の擴張に努力してゐる、只今頃は室內の日の當らぬ所は裸は寒いから止めた

お落て 寒がりやの私は今年は未だ室內でも浴衣の寢卷の上にセルの單衣をちよとひつかけて居る位で夜具等も例年よりずつと少くしてゐる、洋服を着る時以外は未だシャツを着ない、ヒヤヒヤするが何とも云へぬよい氣持である、一寸寒い樣な時は手を摩擦したり戸外の日光の下に出る、裸の時間は朝大概一時間を限度としてゐる、今頃の氣候でも日光の下は裸で決して寒くない、只今頃から始める人は風の當らぬ所でやるがよい、又市中とか其他道中を裸で歩く事が出來ればバルコニーか室內で窓を出來る丈け開け放してやつたら效果は略同樣と思ふ、室外だと日光を充分に身體全體に當てられる上に外氣を存分に吸ふ事が出來る、室內の空氣は餘程換氣に氣を付けて居ても空氣が濁つてゐる、喰ひ餘しや一度胃の中に入つたものを吐き出してそれを飯に混ぜて食ふ人は無いが室內で人の吐き出した空氣は平氣で吸つてゐる、食物の腐敗を防ぎ嫌つたものゝ子供に與へない樣にとそれはそれは注意する

母親が 子供を換氣の不充分な室內で遊ばして置く氣持が判らない、窓を開けると寒い、寒い風に當ると風邪をひくと云つて窓を密閉して置くそれがやがて呼吸器病の原因ではないだらうか?私の子供は今でも六時前に起きる、起きると何よりも眞先に窓を開け放してゐる出來る限り窓は開け放して風の強い時以外は今も尙晝まで窓は開け放してある、人前で裸になる事を非常に憚る人があるが錢湯に行つた時はさうです人前で平氣で褌もない丸裸ではないか物事は思ひ樣だもし警察で八ケ間敷ければ垣根の中やバルコニーでやれば文句はない、其內には警察でも運動時の裸は除外例を出す樣になるだらう、今日でもマラソンの時は大概の露出を何とも云はぬから……(十月十四日自宅のバルコニーで裸の儘記)

滿日各地版

各地の地委選擧戰

奉天　定員超過五名　漸く白熱　目下全然豫測困難

【奉天】時局のため鳴を靜めてゐた地方委員選擧も選擧期日の切迫と共に漸く酣ならんとしてゐるが過日町内會で推薦された十氏も各々事務所を設け作戰をなすと共に大活動に入つたが一方個人として名乘りを擧ぐべく準備を進めてゐる顏觸れは滿鐵側から機關區の岩崎時夫氏、醫大の岩本岩次郎氏、奉天驛の堤春一氏舊委員では山本謙幹、安倍娶婆男、赤塚眞清の諸氏新顏では土橋森吉、菊地秋四郎橋口正一、京谷松之助、川村宗嗣の諸氏それに支那側から商務會副會長の李玉楓氏が立候補確實と見られ又郵便局の岐部氏も乘り出す模樣あり郵便局の得票を多數狙つてゐるものは案外番狂はせをするであらうと云はれ定員十八名に對し立候補の顏觸れは廿二、三名により相當烈しい逐鹿戰が演ぜられるであらう尙本年の榮冠は果して何人に歸するか豫測も出來ない有樣で今年の選擧戰は最も興味あるものとして期待されてゐる

長春　氣勢は揚らず　時局の影響を受け　未だ立候補者もなし

【長春】長春地方委員選擧は五日午前八時より午後四時まで室町小學校に於て施行されることゝなつてゐるが時局のため更に氣勢揚らず未だ一人として表面に名乘りを揚げるものさへない始末である、就中得丸現正副議長の出馬は當然であらうが長春のためには是非出馬して貰はねばならぬ人である新顏では四戸氏あたりが最も有力候補者とされ市民も氏の出馬には頗る乘氣になつてゐるやうだ、青年聯盟長春支部長小澤開作氏は當然出馬の意志であつたが時局と共により以上の重大任務を帶びて活動を續けつゝあるため地委選擧などゝ云つてられない事情にある、然し氏が立候補せぬことは長春のため頗る惜まれてゐる、青年聯盟の若手から藤田藤助、健兒團の名物男竹下國雄兩君などが立候補を傳へられてゐるが是非當選させてやりたいものだ然しながら新聞關係者の出馬（藤田君の如き眞面目な青年は寧ろ推薦すべきだが）は

鐵嶺　支那側も起ち　早くも大波瀾　猛烈な切り崩し策

【鐵嶺】當地に於ける地方委員選擧は定員八名にして從來當選確實性を帶べる滿鐵側からは四名の候補者を出し市中側からは六七名の立候補を例としてゐたが今年は前例を破つて滿鐵側から五名も立候補し而も其何れもが當選確實と見られるので市中側は僅かに三名の當選者となり前途頗る心細き感あり、從つて立候補者も少く僅に末廣、下山、橋本、志村の四氏のみであつた、結局市中候補者四名のうち誰か一人の落選を見るものと思はれてゐた折柄突如として彗星の如く意外にも支那側から北五條通の有力者秦秋陽氏が立候補を宣言して大波瀾を起させた、支那側の立候補は鐵嶺始めての事で市中側候補は何れも呆然とし殊に五條通を唯一の地盤としてゐる下山、末廣兩氏の窮狀は想像以上のものがある、尙其上に濫立せる滿鐵側候補は自己の地盤のみにては滿足せず猛烈に市中側へ切込みつゝあり、これに對する市中候補者は僅かの有權者を爭奪し窮々たる苦戰に陷つた、支那側の有權者は三十二名あり市中候補には少からぬ票數であり一方滿鐵側は固くして拔く術もなく俄然平穩な選擧戰も大混亂を見るに至つた

遼陽　漸く動く　機關區の移轉が問題

【遼陽】地方委員の選擧は時局の爲め延期を發表されて居たが愈々十一月五日を以て執行のことに決定したが現在の處立候補者は委員八名に對し十名であるから結局二名だけは豫備委員となり機關區の移轉があれば熱柿は顯はずして掌上に入ると云ふのであり各立候補の運動員も昨今眞劍に着手するに至り中には孤軍奮鬪を標榜して絶えず有權者の御機嫌伺ひに餘念なき向もあるが廿九日地方事務所に於ける選擧事務所の地區割に相當論議された點から想察して刻一刻と逐鹿界は動搖しつゝあるものと觀測されて居る

多くは横暴と失敗を重ねる憾みがあるから出來るだけ遠慮しまた當選せしむべきでなからう、委員十四名、豫備員七名は時局柄一つの波瀾も見ず平凡裡に終了することであらうとは某々の談そのまゝである

大石橋　舊顏出ず　氣乘薄　立候補なし

【大石橋】時局柄地方委員改選期切迫せるも一般に氣乘りせず滿鐵側は機關區に於て河村、西川の兩氏驛に於て楠川氏が立候補を内定せる以外に支那人側は李作舟高職三兩氏の内何れか立候補する事は確實と見られてゐる而して地方側は石川氏不立候補を聲明し最近に至り伊藤氏又家事の都合上出馬を許さざるものあり立候補を斷念するに至り勢ひ新顏の蹶起を要望せるが山下義朋愛甲直剛小林才治赤倉龜次郎の四氏立候補するに至るべしと觀されてゐる

安東縣維持會　市維持會を擴張

【安東】安東市維持委員會は成立以來着々と好成績をあげ治安と商工業の恢復に活躍を續けて居るが既に一般的に治安が完備し組織に歸した爲め從來の市維持會を擴張して安東縣維持會とし縣内の治安維持と農商工の恢復に努力すべしとの説が高められ二十四日全委員の決議を經て關係方面の諒解を得現在の委員會を縣委員會とし安東縣一帶の統制を圖る事に決定した

各地の匪賊狀況

自衞團二名戰死　法庫縣城占領の馬賊

【鐵嶺】法庫門鐵嶺間の通信は依然恢復されず不通の儘であるが三十日夏家樓子より齎せる情報によれば四百餘名の馬賊が法庫縣城を占領せるは事實にして二十八日賊團の便衣隊數名が午後一時頃城内に潛入し裏山に上つて烽火を揚げ城外の賊團と連絡し賊團は西門外より殺到城内に入るや大掠奪を開始し討伐に向つた公安隊と激戰の結果趙公安隊長以下分所長自衞團員二名戰死し迫擊砲二門は賊團に奪取されたと

馬賊に豹變

【鐵嶺】柴河溝の上流清源縣下夏家堡子駐屯の公安隊員七十名は最近全部馬賊と豹變したるため同地一帶は治安維持の任にあたる者なく全く無警察の狀態に陷つたと

孤家子動搖

【鐵嶺】王以哲軍のため多數の慘殺者を出した鐵嶺縣下孤家子部落東方三十支里に最近優勢なる賊團現はれ二三日中に部落を襲擊すべく策動し其外發隊一部は廿七日孤家子に潛入せりとの説あり皇軍の出動によつて一時落ちついてゐた鮮農は又復極度の恐怖に襲はれ廿九日朝十一名が避難して來た

中隊長負傷

【鐵嶺】二十八日縣下大康屯を襲擊部落を全滅せしめたる馬賊三百名に對し討伐の爲め出動したる鐵嶺公安隊劉中隊長以下よく奮戰し一時擊退し得たるが此交戰に於て劉中隊長及卒一名重傷を負ひ賊團は法庫縣内に退却せるも近く石佛寺を襲擊すべく計畫してゐると

鮮人家屋占領

【奉天】長春西方十五里の地點にある懷德五家子方面より辛うじて避難し來れる鮮人の話によると懷德西南方六里の支那部落附近には最近多數の兵匪入りこみ同地方の鮮人家屋を占領して之に分宿し一の鮮人は戰々兢々としてゐると

開原縣内動搖

【奉天】開原西方約五里四家子、西孤家子附近には去る廿七日夜十時ごろ約千名の兵匪現はれ掠奪、放火を敢行してゐるがこの賊團はもう吾々は昌圖縣の目星い處は悉く掠奪をなし同縣には鮮人もに移り掠奪を行ひ鮮人を驅逐し更に開原の附屬地を襲擊する、と稱してゐるといふので開原縣内の鮮人は戰々兢々としてゐると

營口附近の馬賊團

【營口】水源地警戒中の警察官より二十八日午前三時頃水源地西南約一里の趙家堡子に匪賊七八十名出沒し水源地を襲擊する形勢ありとの急報に接したので營口警察署では應援隊を急派し警戒に任じたが賊は應援隊の來着を知り魏家溝方面に向つて逃走した、一面魏家堡子の鮮人に對して引揚命令を發し徹宵引揚準備に當らしめ十五戸男四十四名女三十七名西塘居住の鮮人四戸男十四名女二十名も共に克五隻に乘り二十九日午後七時三十分警察官附添ひ當地に引揚げて來た尙應援隊の一部は水源地に殘留し同地の警戒に任じて居る

一昨夜昭和園で　旅順の市民大會　撤兵前の懸案解決を決議　各方面に打電

【旅順】現狀國家の最も重大時に直面せる旅順市民は三十日午後七時から昭和園に於て對時局市民大會を催し從來に比なき異常なる緊張と熱烈なる意氣の下に左の如き各鑛士獅子吼の内決議文は滿場一致議決の上直に若槻首相、南、安保陸海軍大臣倉富樞府議長、谷口海軍々令部長、幣原外務大臣、犬養政友會總裁、金谷參謀總長、西園寺公東鄕元帥、内田滿鐵總裁、本庄軍司令官に打電され、更に大會は在佛芳澤大使に宛

閣下の獻身的努力を感謝し邦家の爲め益々御自愛御健鬪を祈る旨を打電し最も盛會裡に散會したが當夜の聽衆は八百餘名に達し如何に現下の時局に對し眞劍味なるかを如實に表現された

決議文

一、吾人は撤兵前に於て對支諸懸案の徹底的解決を期し第三國の干涉は斷じて之を許さず

一、日支諸懸案解決前撤兵を要求せる國際聯盟の決議は支那實狀の認識を誤れるものにして正義人道に基く帝國の主張と全く相容れざるものなり因て絶對に之を拒否す

慰問袋十五萬四千餘個　慰問の酒が三十九石五斗

【奉天】駐滿軍隊への溫かい心盡しの慰問狀慰問袋等は各地より續々と關東軍司令部に到着するが卅日までの總數を擧げると慰問電二百二十通、慰問の手紙四百五十通慰問袋十五萬四千四百十個、慰問酒三十九石五斗二升である

晩秋の農村　金普貔ところどころ（三）　秋陽に鎌光る　贊子河の稻刈

旅順支社　中村生

◇武田家共產村の名がある贊子河の移民農場は貔子窩の北方約二里貔子窩街路の東、豐富なる水を蓄へてゐる贊子河の流れに挾まれてゐる一帶の地方でその總面積約三百七十町歩にわたる地域であるがこゝはさきの李家屯農區に較ぶるとその廣大さに於ては稍劣つてゐるが現在でも耕作面積は李家屯に倍して約三百町歩に及び而も贊子河の豐富なる水は電動力によつて盛んに水田灌漑用水として送水され水田だけでも三十五町歩餘よりほか一帶の畑地には又高粱、包米、粟、大豆、蕎麥等大いに利用されその莫大なる收穫と旺盛なる發展振は他農場の到底追隨を許されぬところである

◇總經營者一門の住家は李家建ではあるが一萬四千圓を投じて建築したさいふ赤煉瓦造の堂々たる長屋及び外に同樣の收納、騾、牛舍一棟がありまるで田舍の校舍であるる、代表者武田氏の說明によると現在同家に住んでゐる者は廣島縣吉備郡阿里村に居た武田家一門の有無配遇者十二家族が一昨年來移り集まつたもので女子供を入れると三十七人を數へてゐる由だが面白いのは十二戸三十七人からの世帶が一種の共產家族を形成して勞力も炊事も風呂便所も總てが共同になつてゐることである、親類一門を引揚げてはるばる滿洲まで出て働くんだ、苦勞もあらう、喜びもあらう、お互に助け合はればならぬ、總て成功せればならぬそれには皆が一身同體になつて骨身を惜しまず勤勉節約して合理的に働くことが最善唯一の方法だといふのがその主旨である

◇恰度晝食前である炊事場には當番に當つた二人の婦人が一人は竈で焚き他の一人は濯ぎ仕事をしてゐる、五升炊きの大釜の飯はもう炊き上る頃らしく重い蓋を押上げて盛んに蒸氣を噴いてゐるの大食卓が据ゑてある、奇麗に拭つた食卓の上にはさつきから皿や茶碗が行儀よく並べられてゐる、晝食の用意は出來た、今に早朝驅け出て行つた野良に出たまゝの農夫たちは空腹しきつていきなり食堂に入つて飯にかぢりつくだらう

◇野良ではもう高粱、包米、雜穀類の取入れが濟んで今稻刈の最中である、三十五町餘の稻田は半分刈り取られて小束のまゝで田の中にねかせて乾かされてゐるが大半はまだ立穗のまゝで實のり重たく穗を垂れた十數町の田面は秋風にゆらぐ黃金の波を打ちゆるがせてゐる、刈り場はすつと向ふのはづれの田だ、武田氏の後について稻刈の現場に行くと數人の邦人農夫を中心にして赤い更紗の腰巻をした苦力が十數人も並んで懸命に稻の株を刈つては倒し倒しては刈つてゐる、サツくと意氣よい刈鎌の響、その處に研ぎ澄まされた鎌がキラリと秋陽に光る、稻は黃、空は碧、みのりの秋だ、收穫の秋だ、今ぞ贊子河農場では武田家一門の努力報いられて千三百餘石の稻と百石に餘る包米、高粱、大小豆など雜穀が忙しく取入れられてゆくのだ、是人氏の節吟二句とりいれの稻にみ國の秋の風とりいれず三年の今日の稔り哉（寫眞は即ち農場の實況である）

軍醫さんたちが　晝夜懸命の努力　鐵嶺衞戍病院の此頃

【鐵嶺】在滿邦人の生命財產を保護する爲め嚴寒の折柄各地に轉戰しつゝある我軍人の勞苦を想ふとき自然に感謝の念切實なるを覺ゆるものであるがこれ等暴戻なる敵兵或は匪賊と交戰し不幸にも敵彈に傷つく將卒は決して少くない我鐵嶺衞戍病院だけでも現在十六名の負傷者を收容し仁戸田軍醫正がまさなり晝夜の別なく一刻も早く全治再び戰線に送るべく懸命な努力を續けてゐる、現在收容中の患者は

上等兵三浦藤一郎（鐵嶺四中隊）二等卒小川正男（鐵嶺四中隊）、伍長西澤勝治（開原憲兵）、一等卒高橋昇（開原二中隊）、伍長戸屋作治（四平街一中隊）、一等卒加賀谷富治（四平街一中隊）、二等卒五十嵐敏治（四平街一中隊）、二等卒嵯峨善次郎（四平街一中隊）、二等卒佐藤岩雄（開原二中隊）、上等兵田中秀雄（步二九ノ六）、一等卒藤田長一郎（公主嶺二中隊）、一等卒柴田貞吉（四平街一中隊）、二等卒梅原春雄（鞍山四中隊）、伍長小檜山清（步二九ノ五）、一等卒星和市（步二九ノ五）、一等卒山地武二（步二九ノ五）

以上十六名なるが此外に入院全治の上再び戰線に勇躍出動した人は一等卒佐藤富士作（騎二ノ一）、一等卒工藤由衞（四平街一中隊）一等卒松岡喜一郎（四平街一中隊）、軍曹阿部修二（奉天一中隊）等であるが近く長春公主嶺等から移されて來る患者もある模樣である、現在收容中の患者は何れも元氣よく近く退院する者も五六名あるが中にも梅原二等卒の如く絶對動搖を禁ぜられてゐる重傷患者もあるが概して負傷は腹部以下に多く生命を氣遣はれる者は一名も無い

錦州政府から　秘密通牒

【安東】鳳凰城縣長宛數日前錦州遼省政府より秘密書類が送附して來つた事我が軍部が知り直にこれを沒收した記載事項は左の通り

一、米國の國際聯盟加入後我國に對する空氣良好となり國際聯盟は中日事件に對し終始手を放さん事　要望す

一、帝國政府は萬難を排し前二項の主旨貫徹の爲め勇往邁進されんことを

◆國際聯盟の決議案は不理案なり出淵藤士と演題左の如し

市會議員　宮竹　清介

◆國難に直面して　同　竹中延太郎

◆國際聯盟は聲手なり脱退すべし　岡野榮次郎

◆嚴然として覺悟せよ　津田　元德

◆最後の斷案　奧村莊五郎

◆國際聯盟を脱退せよ　福永　新七

◆題未定　市會議員　村上　信二

◆大和民族の任務　旅順市會副議長　米岡　規雄

◆題未定　青聯旅順支部長　中川　喜雄

◆所感　町總代　畠田竹三郎

◆唱＝歐羅巴聯送　町總代　外山　宗一

殉職警官に　香典を贈る

【金州】金州驛前岩崎滿物店々主岩崎文五郎氏は滿洲事變の應援警官として公主嶺に派遣された貔子窩署荒木、長澤兩巡査の名譽の殉職にいたく感激し三十日告別式の當日早朝金州驛前派出所に出頭して金一封宛を香奠として贈りたいと申し出た、係官もこの麗しい行爲に喜んで送附の手續を取ることゝしたが、氏の行爲は各方面から非常に稱讚されてゐる

二、國際聯盟は中日事件を急速に結了を欲す一面十三國代表は議決して中日兩政府に非戰公約を遵守すべく注意す

三、最近國際聯盟の提議は日本軍は三週間に撤兵を完了し二週間の後中日兩政府は接收方法の商議を開始し又接收實行の時は中立國より人員を派遣して監視し日軍大部分の撤退を俟つて正式談判を開始す

以上の事を各部下に知らしめ靜かに解決を待つべし又此の寫を隣縣に送附せよ

衆議院視察團

【鞍山】二十九日湯崗子に一泊せる衆議院滿蒙視察團は團長神武代議士以下十名は三十日午前九時十六分着列車で來鞍、直に守備隊に到り慰問の辭を述べそれより滿鐵所を視察し正午より滿鐵所應接室に於て在鞍記者團と會見し千山驛の眞相を聽取し同零時三十分より鞍町俱樂部にて製鐵所幹部と會食一時四十分より驛構内にて官民有志三十名と會見、加藤實業協會長より製鐵所問題と千山事件に對する居留民不安の狀態を詳細說明し同二時五分發急行にて北行せるが一行のうち國同代議士森本氏は驛應接室にて地方有志と座談會を開き同二時五十三分發にて赴連した、一行は親しく滿洲の實情を視察して撤兵の不可能なる事を認識しむしろ增兵すべしと强硬なる意見を持つてゐる

三氏對策協議

【奉天】貴金鑛、關新灘、趙欣伯の三氏は卅日正午ヤマトホテルに參集し約三時間に亘り今後の對策につき打合せをなし三時から軍司令部を訪問し謝辭を述べ六時半辭去した

沿線往來

◆河相關東廳外事課長　卅日來奉

◆宇佐美哈爾濱事務所長　同上

◆森本關東廳警務課長　廿九日公主嶺へ

◆井上第二師團法務部長　卅日長春より來奉

◆山岡電氣課長　卅日來奉

◆本多代議士　廿九日夜長春より來奉

◆何西洮鐵道局長　同上

◆早大辯論部一行廿七名　廿九日來奉

◆津上善七氏（日滿通信社長）　卅日來奉卽日歸連

◆野村茂理氏（遼陽社會主事）　嚴父死去の爲め歸省中の處廿九日歸遼

◆葉恩弟氏（新任税捐局長）　廿九日着任廿日洮沖譯の東道で各方面歷訪挨拶

長春

篤志家の活躍

長春は日支衝突事件に最も關係の深かつたゞけ眞面目な長春市民中には小澤開作、四戸友太郎、鷲崎仙英等の諸氏が內地を初め各方面に活動して輿論の喚起、排日侮日の眞相宣傳等に日も足らぬ有樣であるが日支衝突後轟軍さしてまた宗教家さして戰死者の收容、處置葬儀を初め慰問に手傳ひに凡ゆる活動を續けた西本願寺住職南部法電師は猛力を以て全滿、朝鮮、內地各地を講演行脚し輿論の硬化に努むべく十一月上旬長春出發の筈だが斯うした積極的活動家に對しては長春市民も絕大の感謝さ後援を惜んではならない

公學校學藝會

長春公學校では來る十一月一日（日曜日）午後一時より同校創立記念學藝會を開催することゝなつた

遼陽

營口へ見舞電

營口地方委員會議長、滿洲新報社長外數氏の遭難事件に對し遼陽時局委員會さ地方委員會から見舞並に弔電を發した

鞍山へ慰問使

遼陽時局委員會常任委員渡邊德重、田中幸英、安達周太郎の三氏は二十九日午後鞍山守備隊、警察署憲兵分遣隊其の他馬賊千山事件に付慰問の辭を述べ更に同地滿鐵醫院に入院中の山本巡査外二名を見舞ひ菓子折を贈呈同日午後五時歸遼した

憲兵に酒肴料

川岸侍從武官から遼陽憲兵分隊員一同に酒肴料を下賜されたさ

青聯協議會

遼陽の青年有志は時局に鑑み青年聯盟支部を設立するの議を進めつゝあるが三十一日午後七時から公會堂日本間に於て協議會を開催した

奉天

平安座の映畫

メトロ・ゴールドウイン・メーヤース特作巨匠セシル・ビー・デミル監督の「マダム・サロン」は過日大連に於て公開され大好評を博したが規模の雄大にして結構の綺麗華麗さは豪華を誇る洋畫界に君臨して素晴らしいトピックを振りまいたものであるその他創造映畫同人社作品「捕縛の凱歌」を一日より上映入場料五十錢

修養團講演會

遼陽修養團支部の主催で卅一日午後六時半から滿鐵社員俱樂部日本間に於て鐵道省講師濱谷理吉郞、鳥取縣聯合會上地直永兩師を聘し講演會を催し聽衆多數盛會であつた

安東

日支事變講話

安東大和小學校に於ては廿九日午後一時より全校生徒を講堂に集め大林校長より日支衝突事件の情況並に事變美談等を講話し小國民に多大の感動を與へた

公安局の布告

安東縣商埠公安局では治安維持の爲め姜局長の名を以て二十八日左の布告を發した

一、時局に際して奸商等の物價引上げを禁止す
一、謠言を絕對に禁止す
一、みだりに不法監禁するな
一、排外思想を記せる印刷物の發行禁止
一、鐵道附近を徘徊し物品を拾ふ事を禁ず
一、演說會並に示威運動禁止
一、禁制品を隱匿又は携帶するな
一、擾亂の風說は勿論特に金融界の擾亂的行爲は特に禁止す

密輸事件調査

旣報去る二十七日鴨綠江上に於て滿洲白鶴を密輸せんとして支那海關吏の搭乘せる監視船に發見され頑強に抵抗せる海關側は安東警察署の應援を得拳銃を發射（旣報安東警察署員が發射は誤り）し一味三名を逮捕せるが前記の如く逮捕に當り拳銃を威嚇の爲め發砲せるものとしても時局柄重視され平北警察部では目下其の眞相を調査中である

懸賞米を寄附

新義州府榮町一丁目高橋喜七郞氏はワグナーインキの活動懸賞で白米四斗の籤引を當てたが二十九日これを貧民に施して貰ひたいと警察署へ持參した

川岸侍從武官

聖旨を奉戴して來滿し出征中の軍部を御慰問中の川岸侍從武官は十一月五日午後四時卅五分來安當地軍隊に御續き慰問を爲へ同夜安東ホテル一泊の上六日午前七時五十八分發にて出發遊行の豫定である

大石橋

行進歌の練習

來る十一月三日の戶外デー當日施行列行進歌の練習を十月三十一日より十一月二日まで每日正午より一時間小學校講堂に於て行ふ由、なるべく多數御參列を願ひます

小學校學藝會

麗かな小春日和に惠まれたる小學校の學藝會は三十日午前九時より盛大に開催、父兄の參觀者夥だしく立錐の餘地なき盛況振りを呈し午後零時半散會した

蟠龍寺お十夜

來る十一月五日當地蟠龍寺に於ては例年の通りお十夜の御法要を行ひ晝は午後二時より一般參詣者の爲め夜は七時より青壯年男女の爲めに特に淨土宗支那開敎總監吉武僧正台下を導師として來山を乞ひ法要嚴修後晝夜台下のお說敎がある筈

金州

バス時間改正

金州大連間の滿電バスは來る十一月一日より來春二月末日迄從來の午前七時發を金州、大連共午前八時發に變更運轉することゝなつた而して此れ以外の運轉時間は從來の儘である

官衙勤務時間

十一月一日より民政署を始め各官衙共出勤時間を午前九時に變更する

紡績操業順調

上海の排日に不撓を續けてゐる內外棉の金州工場に於ける營業狀態を見るに上海工場の打擊に比し仕向地が內地、朝鮮なるため製絲のストックなく稍順調な步道を進んでゐる

侍從武官通過

我が將士慰問の爲來滿の川岸侍從武官は一日午前十一時三十五分金州發の列車にて大連へ向け通過し三日午前九時三十六分金州通過の急行列車にて北行するさ

營口

營業擴張披露

滿電バスで金州城南門外の營業所新築落成を兼て城內迄のバス線路開通宣傳の意味により卅一日正午より金州在住者有志三十餘名を新築營業所に招待するさ

培和氏十年忌

金州の素封家閻傳紱氏の父君培和氏逝いて十年、閻氏は孝養の限りを盡して法要を營む筈であるが一日が年忌に相當するので州內の日支人有志を招待して盛大なる大法要を催すさ

加藤氏の葬儀

去る二十八日の衝突事件に重傷を負ひ同夜九時十五分遂に逝去せる青年聯盟營口支部長加藤讓次氏の告別式は三十日午後三時より自宅に於て基督敎式に依り奉天メソヂスト敎會牧師田中茂甫氏司掌の下に執行され同四時自宅出棺青年聯盟會員其他市民多數附添ひ火葬場に送つたが會葬者百數十名に及び盛儀であつた

旅順

チヌの終末期

旅大の太公望連を一方ならず失望させた本年のチヌ釣りもそのシーズンである晩秋は過ぎ、初冬も旣に半の今日此頃ではスッカリ斷念させられ淡き過去の幻想裡にあこがれてゐた處突如二十九日午後旅順御定連の第一人者寒河江堅吾氏は老虎尾に於て驚く勿れ二年兒の五寸餘を筆頭に平均二寸強のチヌ七〇匹、珍魚カワハキ四十四の他アイナメ二十餘匹の大漁を見せ井上釣魚店懸賞に入賞し同志をアッと云はせた、本年のチヌ釣は潮流か將亦時機によるかカワハキ群の襲來は旅順漁場として珍らしい現象で魚族の種類は別さし旅順港口を中心さする本年の漁期は二十九日の狀況を以て押せば愈々最後のチャンスを窺したものと見られ茲兩三日內外を以てホントの終末を告げるのではないかさ觀測されてゐる

黄金臺

◇

關東廳學務課主催にて今回左の期間中旅順、大連に於て州內中等學校生徒作品（圖畫、習字）展覽會を開催する

一、旅順高等女學校　十一月二、三兩日午前九時より午後三時迄
一、滿洲日報社　同七、八兩日午前九時より午後三時迄

◇

旅九ケ年多數の赤ちやんを取り上げた門井ヌイ女史は這次關東廳醫院を辭し歸省中の處今回竹森醫院內に於て引つゞき產婆開業を爲す事さなつた

◇

旅順署では三十日患者輸送自動車外三十三廉拾得品四十八廉一口同七十八口一廉、短靴外十二點の競賣入札を行ひ自動車は三十七圓にて海濱商會へ、四十八廉は六圓三十錢にて後藤古物店へ、同短靴外十二廉は二十三圓にて穆目太へ七十八廉は十二圓六十錢にて後藤へいづれも落札した

御めでた

▲大迫町一八　杉本彌次氏次男昇君二十八日出生
▲月見町五　掛果貞治郞氏五女千里様二十日同上
▲東鄕町一　郡須鋼讓氏長男徹文君二十一日同上
▲常盤町一七　淺野友一氏二男和夫君十九日同上

改造社版 半價大提供
特選名著

見よ絢爛花園の如き名創作と大衆小説名篇

書名	著者	定價	特價
壽々	志賀直哉著	二・五〇	一・二五
第三の隱者の運命	武者小路實篤著	一・九〇	・九五
惱み笑ふ	藤森成吉著	一・三〇	・六五
故郷	藤森成吉著	一・五〇	・七五
秋の一夜	廣津和郎著	一・六〇	・八〇
蛇精	田中貢太郎著	一・九〇	・九五
網の上の少女	片岡鐵兵著	二・〇〇	一・〇〇
山科の記憶	志賀直哉著	一・五〇	・七五
旅人	吉田絃二郎著	一・八〇	・九〇
恐ろしき私	中河與一著	一・八〇	・九〇
木靴	久米正雄著	二・〇〇	一・〇〇
無限抱擁	瀧井孝作著	二・〇〇	一・〇〇
母と子	武者小路實篤著	二・〇〇	一・〇〇
海村	有島生馬著	二・五〇	一・二五
盲魚	眞山青果著	一・八〇	・九〇
伸子	中條百合子著	二・五〇	一・二五
南京の皿	佐々木茂索著	二・三〇	一・一五
橇	黒島傳治著	一・〇〇	・五〇
世紀の假面	山川英著	一・二〇	・六〇
過ぎ行く日	徳田秋聲著	一・八〇	・九〇
果樹	水上瀧太郎著	二・〇〇	一・〇〇
劍俠受難	國枝史郎著	一・〇〇	・五〇
奇談全集（現代篇）	田中貢太郎著	一・五〇	・七五
奇談全集（歴史篇）	田中貢太郎著	一・五〇	・七五
昭和新集	泉鏡花著	二・八〇	一・四〇
海神丸其他	野上彌生子著	一・三〇	・六五
窓展く	佐藤春夫著	二・〇〇	一・〇〇
奴隷	細井和喜藏著	二・〇〇	一・〇〇
蓼喰ふ蟲	谷崎潤一郎著	二・五〇	一・二五
哀しき父	葛西善藏著	一・〇〇	・五〇
緣談窶	里見弴著	二・三〇	一・一五
二人の獨り者	近松秋江著	二・〇〇	一・〇〇
則天武后	柳原燁子著	一・六〇	・八〇
或兵卒の記錄	細田民樹著	二・五〇	一・二五
番町夜講	泉鏡花著	二・〇〇	一・〇〇
赤い屋根	谷崎潤一郎著	二・〇〇	一・〇〇
愛の十字街	宮地嘉六著	一・五〇	・七五
戰影	水野廣徳著	二・八〇	一・四〇
毆る	平林たい子著	一・五〇	・七五
鐵	岩藤雪夫著	一・五〇	・七五
惡漢と風景	前田河廣一郎著	一・二〇	・六〇
アパートの女達と僕と	龍膽寺雄著	二・〇〇	一・〇〇
もだん・でかめろん	谷讓次著	一・二〇	・六〇
テキサス無宿	谷讓次著	一・五〇	・七五
南京六月祭	犬養健著	二・〇〇	一・〇〇
江藤新平	眞山青果著	一・二〇	・六〇
吉良家の人々四十八人目	森田草平著	一・五〇	・七五
濁流に泳ぐ	麻生久著	一・〇〇	・五〇
愛染地獄	今東光著	二・五〇	一・二五
孤島の鬼	江戸川亂歩著	一・〇〇	・五〇
支那	前田河廣一郎著	二・五〇	一・二五
葛西善藏全集（壹卷）	葛西善藏著	二・五〇	一・二五
葛西善藏全集（貳卷）	葛西善藏著	二・五〇	一・二五
葛西善藏全集（參卷）	葛西善藏著	二・五〇	一・二五
葛西善藏全集（四卷）	葛西善藏著	二・五〇	一・二五
葛西善藏全集（五卷）	葛西善藏著	二・五〇	一・二五
血と砂	イバニエス著 鈴木厚譯	二・六〇	一・三〇
みつけもの	ビルドラック著 鈴木婆子譯	一・五〇	・七五
義人ジミー	アプトンシンクレア著 前田河廣一郎譯	二・〇〇	一・〇〇

新選名作集
各一冊四六版並製 定價一圓・特價五十錢

書名	著者
谷崎潤一郎集	谷崎潤一郎著
菊池寛集	菊池寛著
菊池寛集（續編）	菊池寛著
前田河廣一郎集	前田河廣一郎著
前田河廣一郎集（續）	前田河廣一郎著
永井荷風集	永井荷風著
藤森成吉集	藤森成吉著
葉山嘉樹集	葉山嘉樹著
北原白秋集（詩歌篇）	北原白秋著
北原白秋集（散文篇）	北原白秋著
吉田絃二郎集（續）	吉田絃二郎著
森鷗外集	森鷗外著
横光利一集	横光利一著
長田幹彦集	長田幹彦著
岡本綺堂集	岡本綺堂著
小山内薫集	小山内薫著
久保田萬太郎集	久保田萬太郎著
宇野浩二集	宇野浩二著
里見弴集	里見弴著
近松秋江集	近松秋江著
豊島與志雄集	豊島與志雄著
夏目漱石集	夏目漱石著
山本有三集	山本有三著
久米正雄集	久米正雄集
室生犀星集	室生犀星著
徳田秋聲集	徳田秋聲著
相馬泰三集	相馬泰三著
島崎藤村集	島崎藤村著
西條八十集	西條八十著
宇野千代集	宇野千代著
岸田國士集	岸田國士著
佐藤春夫集	佐藤春夫著
池谷信三郎集	池谷信三郎著
大町桂月集	大町桂月著
武者小路實篤集	武者小路實篤著
佐佐木茂索集	佐佐木茂索著
片岡鐵兵集	片岡鐵兵著
金子洋文集	金子洋文著

大佛次郎著（全三卷） 裝幀挿畫 岩田專太郎

赤穂浪士

四六版上製 定價一圓七十五錢 特價

三つ兒も知る元祿の快擧、主家改易より一家離散し、四十有餘の誠忠は打つて一丸となり、臥薪嘗膽遂に寡は衆を倒す大和魂の精華、哀切なる浪士の生活を素材とした大繪卷は、我大衆文學の權威大佛次郎氏の一大傑作である。漸く沈滯の色ある大衆文學界に一新紀元を劃する名篇として江湖の一讀を勸む。

内容目次

陸を歩く男。花の雨。梯子段。闇の世界。意地と必要。豫感。元祿屏風。歩一歩。乘合船。松の廊下。暗闘。主從。浮草。千坂兵部。大石内藏之助。女郎蜘蛛。雲行燈。水の上。手紙。先手。籠城と殉死。灰文字嵐。萬の峠。城。またゝび。つゆ空。（以上上卷）遠目鏡。夕顔。炎天。涼亭。二人侍。邪道。月夜鴉。秋の庭。繊月夜鴉。武士道。分裂。悪あがき。秋風當世風。（以上中卷）――下卷略

大佛次郎著（前後二篇 四六版上製） 各册定價一圓五十錢特價七十五錢

からす組

「からす組」の主人公細谷十太夫は崩壞して行く武士階級の代表者だ。偶然から自分の戀人に夫の仇と狙はれて流浪しながら、自分が飼つてゐる鴉だけを友達にして淋しい日を送つてゐる内に、明治維新の革命の狂熱に知らず識らず身を投じて、自分の生きてゐる時代の歴史的意味に段段と醒覺してゐるのである。大佛氏は此一篇に氏一流のものである讀者を魅惑する波瀾の多い筋の中に正しく歴史を解釋し、獨特の美しき詩情を盛り上げてゐる。この「からす組」は過去を舞臺にとりながら立派に現代の我々のものにしてゐるのである。

戀と劍、ロマンスと革命的熱情の世界

大佛次郎著（前中篇 四六版上製） 各册定價一圓五十錢・特價七十五錢

由比正雪

言葉の總ての意味をこめて、これは巨彈である。超弩級艦である。大佛次郎氏の「由比正雪」――これだけで諸君は頷かれるであらう。澎湃たる浪人群を背後に控へて徳川氏の牙營を衝かんとする野心兒正雪の策動、伊豆守信綱の智謀、戰國の英雄の血に東照宮の計畫を併せたる南海の飛龍紀州賴宣の悍しき野心。雲を呼び火花を發する闘爭がこゝに展開される。壯烈を極めたる男性の詩である苦闘する一つの時代のいきいきとした描寫である。革命の子金井半兵衛丸橋忠彌。惡夢に追はるゝ戰國の人土岐丹後の宿命的な姿その家來その娘の悲劇、秋天の星座の燦然たる有樣である。

大佛次郎著（上下二卷） 裝幀挿畫 岩田專太郎

ごろつき船

四六版上卷 定價一圓九十錢 特價 上卷 製函箱入 下卷同 定價二圓八十錢 特價

廣漠たる北海道の原始林、白樺の幹深くわが最愛の妻子の名を刻んで遠く露西亞に亡命した三木原伊織、悲劇がそこから展開される。舞臺はシベリヤの氷原から蝦夷島京大阪江戸、九州博多安南にまで及び、活躍する人物はすべて皆法の外に置かれた侠盗、脱走浪人、海賊の類である。法に隱れて私慾を逞しくする金力權力に對し、法の外なる無頼漢たちが如何にして人間の正義を守らうとすか？ 讀者は此の「ごろつき」達が日蔭に咲かせる人情の花に悲壯な感銘を禁じ得ないであらう。

内容目次

上卷 怖ろしき一夜、八幡屋一家、兄と妹、江戸の男、陥穽、巡見使、死びと、海の鶩、和尚奇緣、黒潮、海の男、空屋敷、過去からの音信、幽靈組、渦卷、（約五百八十頁の大册）

下卷 渦卷、失踪、夜燈籠、火、銀簪、白い沙漠、異國の人、兎の惣吉、雨やどり、草庵、銀之助、島の別莊、國のない男、蠟燭石、彼等の城、破裂、立つ島、ごろつき船、終局

新鋭文學叢書

新四六版 各冊平均 二百五十頁
各冊定價三十錢・特價十五錢

讀め!! 現代に尖行する文學の精髓、時代の記錄を!!

新時代の最前線を行く新鋭作家の全面貌だ！ こゝに躍動する時代の健康な呼吸と鮮明な彩光を見よ！ 現文壇に潑剌たる存在を示す各派の精鋭を一堂に會せしめた偉觀は本叢書のみが有する特色だ。これぞ一九三〇年の輝ける先驅的出版としての覇力に滿つ！ 然かも網羅せる作品は各作家の代表的第一作のみ。更に見よ、この絶對廉價！ 此の先驅出版を諸賢の裝幀を！ 秀眉の君の手で守れ！

書名	著者
ボール紙の皇帝萬歳	久野豐彦著
隕石の寢床	中村正常著
なつかしき現實	井伏鱒二著
傷だらけの歌	藤澤桓夫著
反逆の呂律	武田麟太郎著
情報	立野信之著
浮動する地價	黒島傳治著
耕地	平林たい子著
屍の海	岩藤雪夫著
闘ひ	中本たか子著
正子とその職業	岡田禎子著
研究會挿話	窪川いね子著
ブルジョア	芹澤光治良著
不器用な天使	堀辰雄著

主催 改造社
後援 滿洲日報社 滿洲書籍商組合

特賣期間は餘す所十日間、賣切れとならぬ内至急最寄りの書店に御申込を乞ふ
品切書籍は特賣期間中の御申込に限り半價特賣の豫約に應ず

緊縮節約の折柄
特に宿料の勉强と親切叮嚀をモツトーと致します
御食事は全極清新の物を特に選擇して差上げます
大連市信濃町
東旅館 電話四六四六番
富士屋旅館 電話五二八六番

業務 物品販賣業、問屋業、運送業、保險並に船舶代理業、造船業及附帶事業
滿洲出張所所在地 牛莊、安東縣、奉天、長春、哈爾濱
取扱品目 滿洲特產物、麥粉、石炭、コークス、鐵道用品、各種機械、小野田セメント、燐寸、紙類、麻袋、木材、硫安其他化學肥料、配精其他工業藥品、金物鑛石類、織物類、鹽、海產物、砂糖、罐詰類、其他食料品

三井物產株式會社大連支店
大連市山縣通百八十二番地
電話（代表）七一〇一番

渡邊洋行
大連市信濃町（市場裏門前）
電話八八三七番

大連肛門病院
入院隨意 院長 内田鎮一
西公園町三 トキワ小学前 電五六八五八

王道主義の世界觀 人間・仙石翁の思出
殘された數々の逸話（下）

黨首は兇彈に傷いて病床に呻吟してゐるのに、多難、議會に臨むについて幣原代理で押通すか、政黨内閣制に則り安達、江木で臨むかで與黨内に紛爭が生じた今春の議會再開直前、どうしても纏まりのつかぬ黨議のため濱口さんを病床から議會へ引つ張り出さうといふ（說）が有力になつた頃の或日、仙石さんは眼に一杯涙をためて東京支社の一室で聲をふるはして激憤したものである 濱口を殺さうといふのか、與黨の連中は氣が狂つとりやせんか、閣僚も、年をしたものが揃つてゐて何といふことぢや、濱口の後釜に座りたい者は籤引できめろ、濱口は議會へ出たら死にさうだ、それを引つ張り出さうといふのは一體人間が考へることなのか

記者は其時、仙石さんが「腹の中へ鐵砲玉をぶちこまれてゐる人間なぞ……」と云つてチヨツキの上から自分の腹を撫で廻した時の顏が歷々と浮ぶ、そこに濱口さんと議員の仙石さんの逃惻とばかりはいひ切れぬ一種の人間的な燃ゆるやうな感情の燃燒があつた、しかも今やその庇護された人も、庇護され（共）た人も 共に亡いのである、民政黨の人々は新な政權期の切迫につれ去歲の回顧から一抹の寂寥感を禁じ得ざるものがあらう そして餘りにも人物的に單調な日本の政界はまたもや仙石さんを失つたことにより一入の人物的淋れを見せることゝなつた

人間仙石翁の逸話はあまりに多く有名である、利かぬ氣の頑くな、一面に涙脆い人であつた、翁自身非常に正義感の強い人だつただけに人の正義を愛した、濱口前首相を酷愛したのも濱口さんの正義を愛したのである 翁を千萬長者のやうに世間では思つてゐたが翁は全くの無財產であつた、麻布富士見町の邸宅までも夫人の知らない間に人手に渡してゐた、それが分つたのは病勢が進んで極最近のことである、全財產を、邸宅まで賣つた金を、濱口さんに注ぎ込んだ（助）濱口さんの正義な政治を助けるために自らは清貧に甘んじてゐたのである

昨年十一月十四日濱口前首相遭難の凶報を翁は滿鐵の重役室で受けたその瞬間一寸驚いたやうだつたが直ぐ平靜に歸つて 男子が信ずるところの大事業を遂行するには敵を作るのは已むを得ないことである、濱口も男子の本懷だと思つてゐることだらう しかし暫くすると翁は横を向いてハンケチで眼を拭いてゐた。

翁の激雷はあまりに有名である、一寸氣に喰はぬと「馬鹿ッ」と落雷する、今の滿電專務の入江正太郎氏が滿鐵東京支社長時代には盛んに「馬鹿ッ」を（喰）つたものである、しかし入江さんの解釋に依ると仙石翁の「馬鹿」は「オイ」といふ位の意味のもので後はケロリとして何も殘らない、それだから怒られた方でも別に腹を立てるやうなことはなかつた、濱口内閣の官吏減俸案が全國的に反對の渦を捲き起してゐる時に翁が首相官邸に乘込んで「そんな間違つたことは止めろ」と意見して遂に減俸案を撤回せしめた時の翁の人氣はまことに素晴らしいものであつた

下ノ關のカフエーで女給に圍まれて昂然たる翁の寫眞を新聞で見た人は翁の童心振りに微笑んだものだ、いつも賑やかな話題を提供してゐただけに翁の訃報は今更寂しい感がする【カット獨特の首卷をした仙石翁】

葬儀は二日午後青山齋場で執行
けふ片瀨の自邸出棺

【東京特電三十一日發】仙石前滿鐵總裁の告別式は既報の如く二日午後二時より三時まで青山齋場において神式により擧行の筈であるがこれよりさき遺骸は一日午後一時片瀨の自邸出棺、未亡人、令嗣次雄氏夫妻其他近親に守られ自動車にて上京、市外落合火葬場に赴き四時遺骸を荼毘に附し同夜骨上げをなし、一日片瀨に引返し、二日午前令嗣次雄氏遺骨を捧持し、青山齋場に向ひ午後一時より祭典を執行、二時より告別式に移る筈である

各方面の思出話（東京特電卅一日發）

齋藤良衛氏談

恰度昭和四年二月頃と思ふ、仙石さんが滿鐵總裁として始めて奉天に來られた、その時自分は奉天公所に居て仙石總裁が張學良氏と會見したその席上に居たのである、仙石さんは非常に親切な態度を以て東亞の大勢を說き、國際的關係を語り東洋平和の爲にはどうしても日支親善が必要だとさながら慈父が愛兒に物を敎へるやうな丁寧な態度で話された、私は仙石さんは雷親父と聞いてゐたが、仲々親切な人と直感した、其後學良氏に會ふと仙石總裁は濱口内閣の男のやうな人で濱口首相等に餘程强い力を持つたガミ／＼親父だと思つたらお父さんのやうな感じのする人だと云つてゐた、自分は此の人は嘩しい半面に慈愛の人だと云ふことを知つたのである

神鞭常孝氏談

仙石さんはまことに變つた面白い人であつた、丁度大正十二年の大震災直後だ僕が横濱税關長をしてゐた時、バラックの掘つ立て小屋で執務してゐると仙石さんが加藤伯やその他二三の政治家と一緒に視察に來られた、タオルを首に卷きワイシヤツ一枚で働いてゐた僕を見てこれでは背が折れますノと激勵されたが其の時雷親父かと思つた、其後不思議な緣で御一緒に仕事をすることになつたが僕の意見は比較的快よく受け入れ何でも聽いて下さつた、仲々他人の言に耳を藉さぬ人であつたが一旦人を信ずると深くこれを信任した人である、何と云つても日本の鐵道事業につくした功勞者で惜むべき大人物であつた

原鐵道大臣談

仙石さんは實業家としても卓越し度量の大きい人物であり又政治家として居られた人で常に大局を達觀して居られた、苦節十年の加藤伯に終始一貫援助して民政黨に盡し加藤伯亡き後は濱口雄幸君を宛かも自分の子供であるかの如く指導後援された、濱口君が總裁大臣となり民政黨を率ゐて何等後顧の憂ひがなかつたのも仙石さんの如き良き後援者を持つてゐたからである、滿鐵總裁となつてその偉大なる抱負を實行計畫中遂に病の冒すところとなり再び立つ能はざるに至つたことは實に惜むべきことである

大島要三氏談

私は仙石さんが鐵道局技師時代に知り合となり以來交りを續けてゐる、自分も政治が道樂で民政黨のために黨員を增して來たが仙石さんの盡力は吾々の何倍と云ふ程で殊に加藤亡き後濱口君を助けて民政黨の擴張に盡したことは非常なものである、民政黨の大久保彥左と云はれる程の實權を持つにいたつたが、公平無私で常に高處に立つて小事にとらはれなかつた點は偉い、私のやうな老人が議會に押し出されたのも仙石君から無理に押し出されたやうなものだ、兎に角これまで賴みにしてゐた親友を無くしたことは殘念だ、悲痛の念にたへない

故仙石翁に恩命
敍位、勲章加授の御沙汰

【東京三十一日發】逝去に際しては故仙石貢氏に對し同氏が多年政界及び鐵道界に盡瘁したる功勞を思召され左の如く敍位並に勲章加授の御沙汰あらせらるゝ由

正四位勳一等　仙石貢
敍從三位（以特旨位一級被進）
授旭日大綬章

【東京三十一日發】仙石貢氏に對し既報の通り敍位敍勲の御沙汰あつた

舊滿鐵社員の香奠

仙石前滿鐵總裁逝去につき滿鐵社内社友會支部では舊滿鐵社員にして香奠を贈るもの、分もこれを取纏めて取次ぐことになつた、十一月十日まで申込まるべきことを希望してゐる

派出所内で亂暴し重要書類を燒棄す
机ストーブ等を破壞
常盤町派出所で醉漢の狼籍

三十一日午前二時ごろ連鎖街カフエーナナに醉漢三名が押かけ酒肴を命じて亂暴を働いて居るとの訴へに常盤町派出所詰安藏巡査が現場に赴き一時派出所に連行して取り鎭めんとしたところ三名の醉漢は安藏巡査を捕へて憲法論をまくしたてるやら果ては同所に居合せた道牛巡査の兩名に向つて亂暴し始めたので兩巡査も已むなくこれを取り鎭めんとして兩者の間に大格鬪となり宛然ら派出所内は大修羅場と化したが何分三名に二名で兩巡査も持て餘して居たところへこの内一名は矢庭に傍らにあつた椅子を振りあげて兩巡査に打つてかゝりストーブの煙突を滅茶々々に破壞した上所内の机を路上に擔ぎ出し抽斗にあつた戸口調査控その他重要書類を引き破つてストーブに投げ込んで燒いてしまふ等亂暴の限りを盡して居るところへ警邏のため巡回中であつた同署の高野部長等が駈けつけ漸く取押へて本署に連行し取調べたが一名は懷中にあつた自動車運轉手の免許證によつて元市内淺間町一九岩崎商會運送部に居た横山某と判明したが他は「斷じて名前は言ひません」と頑として名前をいはず取調べに手古摺らしてゐるが同署では公務執行妨害として目下留置してゐる

體育ボール大會組合せ決る
きのふ役員會開催

大連市役所主催本社後援の第二回體育ボール大會はいよ／＼來る三日午前十時より大連運動場に於て擧行されるが、三十一日午後二時より市役所會議室に於て役員會議開催の結果、滿鐵工務課A組、埠頭F組、大連醫院及び滿鐵經理課A組の四チームをAクラスとなし他はBクラスとなすことになり抽籤組合せを左の如く決定した

A級　一般之部
(1)滿鐵工務課對埠頭F組
(2)大連醫院對滿鐵經理課A組
(3)滿鐵經理課A組對工務課A組
(4)埠頭F組對大連醫院
(5)大連醫院對工務課A組
(6)埠頭F組對經理課A組

B級
第一組　B組
(1)彌生高女職員對滿鐵工務課
(2)滿鐵技術局對理學試驗所
(3)彌生高女職員對理學試驗所
(4)彌生高女職員對技術局
(5)技術局對工務課B組
(6)理學試驗所對工務課B組

第二組
(1)滿鐵經理部B組對UOクラブ
(2)滿鐵工事課對埠頭S組
(3)滿鐵經理課B組對工事課
(4)UOクラブ對埠頭S組
(5)滿鐵工事課對UOクラブ
(6)滿鐵經理課B組對埠頭S組

第三組
(1)商事部庶務課對一中職員團
(2)瓦斯クラブ對大廣場クラブ
(3)商事部庶務課對瓦斯クラブ
(4)一中職員團對大廣場クラブ
(5)瓦斯クラブ對商事部庶務課
(6)大廣場クラブ對一中職員團

中等學校之部
A級
大連商業A組對大連二中B組
南滿工專對大連二中A組
不戰一勝大連一中A組

B組
大連一中B組對工作工養成所
大連商業R組對大連商工
不戰一勝一中C組

女學校之部
彌生高女A組、彌生高女B組、彌生高女C組
右組合は當日朝抽籤にて決定

全滿弓道大會の竹中理事盃

二大會の組合せ
けふそれ／＼開始

本社後援、體育堂運動具店主催のスポンヂ野球大會並にアマチユアピンポン大會、兩大會は愈々今一日ピンポンは午前九時より伏見臺小學校講堂に於てスポンヂは滿倶、實業、一中、伏見臺小學の四球場でそれぞれ開始されるが三十日申込を締切つた結果、兩大會とも民衆的スポーツであるだけにピンポンは二十七チーム、スポンヂ野球は二十六チームと云ふ多數の參加チームあり三十一日午後四時より體育堂内に於て會議の結果兩大會の組合せ左の如く決定した

アマチユアピンポン大會組合せ
第一回戰
(1)旅順師範學堂對南山クラブ
(2)滿電クラブ對電クラブ
(3)用度事務所若草クラブ
(4)教科書編輯部組對理學試驗所
(5)協會對滿鐵工場
(6)KUK對旅順工大
(7)中央試驗所對旅順刑務所
(8)大連師堂クラブ對滿鐵築港課
(9)常盤クラブA組對南滿瓦斯B組
(10)橘立クラブ對常盤クラブB組
(11)教科書編輯部A組對大連商業

第二回戰
▲ツバメクラブ對南滿工專
▲鐵道部審査對新風クラブ
▲南滿瓦斯A組對(1)の勝者
▲(2)の勝者對(3)の勝者
▲(4)の勝者對(5)の勝者
▲(6)の勝者對(7)の勝者
▲(8)の勝者對(9)の勝者
▲(10)の勝者對(11)の勝者
◎註正九時までに參集なき場合は棄權と見做すに付き特に注意せられたし

スポンヂ野球大會組合せ
滿倶球場之部
(1)Dクラブ對埠頭(九時)
(2)土曜クラブ對豐成(十一時半)
(3)安藤商會對紅葉(一時)
(4)春日對大連醫院(二時)
(第二回戰)

實業球場之部
(5)遞友對淡路(十時)
(6)大信洋行對電友(一時)
(7)列車區對吉妻驛(二時半)

大連一中球場之部
(8)檢車區對遞信工友(十時)
(9)銀座對中央試驗所(一時)
(10)常盤青訓對埠頭檢査(二時半)
(第二回戰)

伏見臺小學校球場之部
(11)理學試驗所對高穂(十時)
(12)滿鐵工事課對伏水(一時)
(13)豐年製油對常盤クラブ(二時半)
(第二戰)

第二回(三日)擧行時間場所は追つて發表
▲(5)の勝者對(6)の勝者▲(11)の勝者對(8)の勝者▲(9)の勝者對(12)の勝者▲(7)の勝者對(3)の勝者

慶應新人勝つ 10—1
對明大新人戰

【東京三十一日發】神宮野球第一日は三十一日神宮球場に於て慶明早法の新人戰を擧行、慶明新人戰は午前十一時三十五分慶大先攻伊丹、森、齋藤三氏審判の下に開始されたが結局十對一で慶應大勝し兩軍午後一時三十六分閉戰した、

バツテリー（慶應）長谷川、河津（明大）中村、山脇

柔道は福岡
きのふの神宮競技

【東京三十一日發】神宮柔道決勝戰は福岡が二對零で京都を破り優勝した

野球早大勝つ

【東京卅一日發】神宮野球早法戰は午後一時十四分法政先攻に開始し結局五アルファー對四で早大勝、閉戰同四時廿二分

相撲選手權

【東京卅一日發】相撲個人優勝戰は吳海軍の尾池昭氏優勝し選手權を獲得した

澁澤子爵病狀急變

【東京三十一日發】市外瀧野川町の自邸に病臥療養中の澁澤子爵は卅一日午後に至り俄に高熱となり體溫卅九度脈搏百五十を數へ容體急變したので嗣子敬三氏令息篤二氏夫妻秀雄氏穂積重遠男などの近親者に急報したので何れも急を聞いてはせつけ邸内は見舞客で雜沓してゐる、午後三時入澤博士診察後語る

高熱の原因は全く不明で外科醫と共同診察しなければ明確なことは言へぬ、意識も[illegible]して居られるが何分九十二の御高齡のことであるから警戒を要します

人力馬車賃金
けふから値下

大連市内の人力車、乘用馬車の賃金は警察署の認可によりいよ／＼十一月一日から値下げの新賃金を實施することになつたが從來の距離制を廢し地圖上の直線十丁を一區と定め左の通りの料金である

▲人力車　一區金五錢、二區金十錢、半日五時間五十錢、一日十時間一圓、客待二十分間五錢、但し雨雪及び夜間十二時以後は二割增、行列用並に重量荷物を携持する時は倍額
▲乘用馬車　一區金十錢、二區金二十錢、半日（五時間）一圓、一日（十時間）二圓、客待三十分間十錢

尙區間の距離は乘車地點と下車地點を地圖（六千分の一市街圖）で直線六寸（曲尺）が十丁であるから道路の都合で迂回する場合は實測十丁餘になつても一區であるが乘客の都合で行路の變更を要求した場合はその迂廻距離を加算すること

兵匪撫順に潛入し鮮支人を襲ひ掠奪を擅に

撫順署では豫て兵匪の潛入を警戒中であつたが果して三十日午後十一時半頃より三十一日午前三時頃までの間にかけて炭礦機械工場附近の鮮農李學連（三〇）方ほか鮮支人の家五軒を七、八名乃至十二名が一組となつて襲ひ、長銃を亂射して掠奪を恣にしてゐるとの報に接し撫順署では直に非常召集を行ひ目下大捜査中【撫順電話】

別府の大火は放火

【大分三十一日發】全滅した別府觀海寺溫泉大火原因につき放火の疑ひあるより別府署で火元小松屋主人末永常松（五〇）を取調べの結果三十日夜に至り保險金詐欺の目的で放火した事を自白した目下引續き取調べ中である

滑走中に發火

【立川三十一日發】陸軍飛行大尉甘粕三郎氏は三十一日午前十一時飛行機の性能試驗中地上滑走しつゝある時機關部より發火したので甘粕大尉は燃え盛る機體から脫出し奇蹟的に助かつた

車道交通變更

市内藪家屯赤十字病院前より常盤町に通ずる道路は從來左側を自動車道路としてゐたが所轄小崗子署では交通事故防止のためかねてこれが改善を行はんと道路修理中であつたところこの程完成したので一日より同道路は電車線路を挾んで步道に近き方を鐵輪、線路側をゴム輪と兩側道路を使用することゝなつた

弓道選手權大會

十一月一日午前九時より
中央公園武德會弓場で
主催　滿洲日報社

日曜の催しもの

▲全滿弓道團體個人選手權大會　午前正九時中央公園武德會弓場で
▲アマチユアーピンポン大會　午前九時より伏見臺小學校講堂で
▲スポンヂ野球大會　午前九時より實業滿倶一中、伏見臺小學四球場で
▲全滿中等學校籠球選手權大會　午前十時より神明高女講堂で
▲大連倶樂部對南滿工專、育成OB對工專OB兩ラグビー戰　午後二時より大連運動場で

「趣味の寫眞」創刊

淵上白洋、青山春路兩氏編輯の月刊雜誌「趣味の寫眞」は全滿寫眞の機關雜誌として發刊され既に寫眞材料店及書店において發賣中であるが卷頭を飾る優秀な藝術寫眞及通俗的な寫眞記事は一般寫眞アマチユアー間に好評を博してゐる

安樂椅子

濱町通りの大店大塚靴店對一ノ瀨商會の訴訟事件で問題の一ノ瀨の賣出しは廿九日を以て終つたがこの爭ひが新聞に報ぜられてから俄然大賣出しは物凄い人氣を呼んだものだ。
……◇……
賣出しには大塚と一ノ瀨の兩店員が出てやつたが何分兩店の爭ひが感情的にこじれてゐるのだ特に一ノ瀨側では、どうせ幾ら賣揚げても皆大塚に持つて行かれるといふ腹だから四割引も五割引もない、自棄糞の捨値だ、出鱈目の値で投賣する。
……◇……
喜んだのはお客樣、店員の顏色をうかゞつては上手に買つたものは只のやうな値、四十圓の獺布團を二圓五十錢まで買つた者十二圓也の定價のついたベロアのソフト帽を二圓で買つた者など、すつかり漁夫の利を占めたものだ。

排日ポスター展
きのふ本社講堂の準備